



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

ICTモデル事業

大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

[illegible]

九州農政局

[illegible]

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			39,920,000	
・工事原価			33,411,000	
純工事費			24,366,000	
・直接工事費			21,596,000	
・ ・ ・ 直接工事費 (仮設工を除く)	1.000	式	21,596,000	
・ ・ ・ 直接工事費 (仮設工)	1.000	式	0	
・ ・ 間接工事費			11,815,000	
・ ・ ・ 共通仮設費			2,770,000	
・ ・ ・ ・ 事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 運搬費～営繕費等				
$21,596,000 \times ((9.560 \times 1.200) \times 1.000 \times 1.020 \times 1.000)$			2,527,000	
・ ・ ・ ・ 運搬費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 準備費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 安全費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 役務費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 技術管理費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 営繕費等	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 現場環境改善費			243,000	
・ ・ ・ ・ ・ 現場環境改善費 (率計上)				
$21,580,000 \times (1.130)$			243,000	
・ ・ ・ ・ ・ 現場環境改善費 (積上)	1.000	式	0	
・ ・ ・ 現場管理費			9,045,000	
・ ・ ・ ・ 現場管理費 (率計上)				
$24,366,000 \times ((32.140 \times 1.100) \times 1.000 \times 1.050 \times 1.000 + 0.000 - 0.000)$			9,045,000	
・ ・ ・ ・ 現場管理費 (積上)	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 現場管理費 (一般管理费率対象外)	1.000	式	0	
・ ・ ・ 工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・ ・ 官貸額 (直工)	1.000	式	0	
・ ・ 官貸額 (事業損失防止)	1.000	式	0	
・ ・ 官貸額 (直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・ 一般管理費等				
$33,411,000 \times (19.470 \times 1.000 + 0.04)$			6,518,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費 (直工・事業損失防止)			0	
支給品費 (直工)			0	
処分費等 (直接工事費の内数)			16,000	
処分費 (準備費の内数)			0	
処分費 (事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等 (率対象外)			0	

[illegible]

[illegible]

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工を除く)				21,596,000	
・自動給水ゲート設置工	1.000	式		21,596,000	
・・作業土工 (自動給水ゲート周辺部)	1.000	式		71,000	
000001 床掘 土砂	15.000	m ³	2,006	30,090	歩A・単A B単 1号
000002 埋戻し 流用土	10.000	m ³	4,070	40,700	歩A・単A B単 2号
合 計				70,790	
・・作業土工 (給水管部)	1.000	式		170,000	
000003 床掘 土砂	28.000	m ³	2,006	56,168	歩A・単A B単 3号
000004 埋戻し 流用土	28.000	m ³	4,070	113,960	歩A・単A B単 4号
合 計				170,128	
・・既設構造物取壊し工	1.000	式		193,000	
000005 コンクリート切断 既設水路切断	5.400	m	1,795	9,693	歩A・単A B単 5号
000006 構造物取壊し コンクリート,有筋	2.600	m ³	50,970	132,522	歩A・単A B単 6号
000007 構造物取壊し コンクリート,無筋	0.700	m ³	30,200	21,140	歩A・単A B単 7号
000008 殻運搬 コンクリート,有筋	2.600	m ³	4,343	11,292	歩A・単A B単 8号
000009 殻運搬 コンクリート,無筋	0.700	m ³	3,023	2,116	歩A・単A B単 9号
000010 殻処分 コンクリート,有筋	6.500	ton	2,000	13,000	歩A・単A B単 10号
000011 殻処分 コンクリート,無筋	1.600	ton	2,000	3,200	歩A・単A B単 11号
合 計				192,963	
・・コンクリート工 現場打水路・均しコンクリート	1.000	式		458,000	
000012 コンクリート工 18-8-25 (20) (高炉B)	4.400	m ³	34,550	152,020	歩A・単A B単 12号
000013 型枠 (構造物)	37.000	m ²	7,611	281,607	歩A・単A B単 13号
000014 均しコンクリート 18 - 8 - 20	0.400	m ³	29,630	11,852	歩A・単A B単 14号
000015 型枠 (均しコンクリート)	3.000	m ²	4,270	12,810	歩A・単A B単 15号
合 計				458,289	
・・自動給水ゲート取付水路等	1.000	式		551,000	
000016 水路工 A-BF250型	35.000	m	11,140	389,900	歩A・単A B単 16号
000017 水路工 A-BF300型	4.000	m	12,517	50,068	歩A・単A B単 17号
000018 水路工 A-BF500型	1.000	m	30,341	30,341	歩A・単A B単 18号
000019 樹工 B-二次製品樹型	1.000	箇所	80,346	80,346	歩A・単A B単 19号
合 計				550,655	
・・給水管整備工	1.000	式		203,000	
000020 硬質ポリ塩化ビニル管 VP φ150mm	13.000	m	3,393	44,109	歩A・単A B単 20号
000021 硬質ポリ塩化ビニル管継手材 VP φ150mm 22° 1/2 ベント	16.000	箇所	9,955	159,280	歩A・単A B単 21号
合 計				203,389	
・・自動給水ゲート設置工	1.000	式		7,171,000	
000022 給水ゲート 角落し仕様 アルミ製スライドゲート (150×150)	47.000	箇所	111,618	5,246,046	歩A・単A B単 22号

[illegible]

事業名

ICTモデル事業

工事名

大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B単ー 1号 ***					
000001	床掘					
	土砂		m3	2,006		歩A・単A
	*** B単ー 2号 ***					
000002	埋戻し					
	流用土		m3	4,070		歩A・単A
	*** B単ー 3号 ***					
000003	床掘					
	土砂		m3	2,006		歩A・単A
	*** B単ー 4号 ***					
000004	埋戻し					
	流用土		m3	4,070		歩A・単A
	*** B単ー 5号 ***					
000005	コンクリート切断					
	既設水路切断		m	1,795		歩A・単A
	*** B単ー 6号 ***					
000006	構造物取壊し					
	コンクリート,有筋		m3	50,970		歩A・単A
	*** B単ー 7号 ***					
000007	構造物取壊し					
	コンクリート,無筋		m3	30,200		歩A・単A
	*** B単ー 8号 ***					
000008	殻運搬					
	コンクリート,有筋		m3	4,343		歩A・単A
	*** B単ー 9号 ***					
000009	殻運搬					
	コンクリート,無筋		m3	3,023		歩A・単A
	*** B単ー 10号 ***					
000010	殻処分					
	コンクリート,有筋		ton	2,000		歩A・単A
	*** B単ー 11号 ***					
000011	殻処分					
	コンクリート,無筋		ton	2,000		歩A・単A
	*** B単ー 12号 ***					
000012	コンクリート工					
	18-8-25(20)(高炉B)		m3	34,550		歩A・単A
	*** B単ー 13号 ***					
000013	型枠 (構造物)					
			m ²	7,611		歩A・単A
	*** B単ー 14号 ***					
000014	均しコンクリート					
	18 - 8 - 20		m3	29,630		歩A・単A
	*** B単ー 15号 ***					
000015	型枠 (均しコンクリート)					
			m ²	4,270		歩A・単A
	*** B単ー 16号 ***					
000016	水路工					
	A-BF250型		m	11,140		歩A・単A
	*** B単ー 17号 ***					
000017	水路工					
	A-BF300型		m	12,517		歩A・単A
	*** B単ー 18号 ***					
000018	水路工					
	A-BF500型		m	30,341		歩A・単A
	*** B単ー 19号 ***					
000019	樹工					
	B-二次製品樹型		箇所	80,346		歩A・単A
	*** B単ー 20号 ***					
000020	硬質ポリ塩化ビニル管					
	VPφ150mm		m	3,393		歩A・単A
	*** B単ー 21号 ***					
000021	硬質ポリ塩化ビニル管継手材					
	VPφ150mm 22° 1/2 ベント		箇所	9,955		歩A・単A
	*** B単ー 22号 ***					
000022	給水ゲート 角落し仕様					

[illegible]

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B単ー 1号 ***					
000001	床掘 土砂		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-,	1,000	m3	2,006	2,006	S単 15号
	合 計				2,006	
	単 価				2,006	
	*** B単ー 2号 ***					
000002	埋戻し 流用土		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	1,000	m3	1,047	1,047	S単 14号
S01041	人土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人カタコ	1,000	m3	3,023	3,023	S単 1号
	合 計				4,070	
	単 価				4,070	
	*** B単ー 3号 ***					
000003	床掘 土砂		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-,	1,000	m3	2,006	2,006	S単 15号
	合 計				2,006	
	単 価				2,006	
	*** B単ー 4号 ***					
000004	埋戻し 流用土		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	1,000	m3	1,047	1,047	S単 14号
S01041	人土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人カタコ	1,000	m3	3,023	3,023	S単 1号
	合 計				4,070	
	単 価				4,070	
	*** B単ー 5号 ***					
000005	コンクリート切断 既設水路切断		m		1,000	歩A 当たり算出
T00017	既設コンクリート切断 手動式,ブレード径,コンクリート面,厚さ20~30mm	1,000	m	1,795	1,795	T単 7号
	合 計				1,795	
	単 価				1,795	
	*** B単ー 6号 ***					
000006	構造物取壊し コンクリート,有筋		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02721	【構造物取壊し】 有筋,なし,人力,昼間施工,	1,000	m3	50,970	50,970	S単 8号
	合 計				50,970	
	単 価				50,970	
	*** B単ー 7号 ***					
000007	構造物取壊し コンクリート,無筋		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02721	【構造物取壊し】 無筋,なし,人力,昼間施工,	1,000	m3	30,200	30,200	S単 9号
	合 計				30,200	
	単 価				30,200	

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B単ー 8号 ***					
000008	般運搬 コンクリート, 有筋		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0221	SP 般運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 28.4km以下,	1,000	m3	4,343	4,343	S単 16号
	合 計				4,343	
	単 価				4,343	
	*** B単ー 9号 ***					
000009	般運搬 コンクリート, 無筋		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0221	SP 般運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 23.2km以下,	1,000	m3	3,023	3,023	S単 17号
	合 計				3,023	
	単 価				3,023	
	*** B単ー 10号 ***					
000010	般処分 コンクリート, 有筋		ton		1,000	歩A 当たり算出
S02123	般処分費 鉄筋	1,000	ton	2,000	2,000	S単 6号
	合 計				2,000	
	単 価				2,000	
	*** B単ー 11号 ***					
000011	般処分 コンクリート, 無筋		ton		1,000	歩A 当たり算出
S02123	般処分費 無筋	1,000	ton	2,000	2,000	S単 7号
	合 計				2,000	
	単 価				2,000	
	*** B単ー 12号 ***					
000012	コンクリート工 18-8-25(20)(高炉B)		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 小型構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	1,000	m3	34,550	34,550	S単 18号
	合 計				34,550	
	単 価				34,550	
	*** B単ー 13号 ***					
000013	型枠 (構造物)		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠, 小型構造物	1,000	m ²	7,611	7,611	S単 20号
	合 計				7,611	
	単 価				7,611	
	*** B単ー 14号 ***					
000014	均しコンクリート 18-8-20		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	1,000	m3	29,630	29,630	S単 19号
	合 計				29,630	

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価				29,630	
	*** B単ー 15号 ***					
000015	型枠 (均しコンクリート)		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠,均しコンクリート	1,000	m ²	4,270	4,270	S単 21号
	合 計				4,270	
	単 価				4,270	
	*** B単ー 16号 ***					
000016	水路工 A-BF250型		m		1,000 m	歩A 当たり算出
P96016	深型水路BF250	1,000	個	8,200	8,200	
S05001	鉄筋コンクリートフリーム機械据付工 250,バックホウ (クレーン機能付) クロー型,受台無し,あり	1,000	m	2,940	2,940	S単 10号
	合 計				11,140	
	単 価				11,140	
	*** B単ー 17号 ***					
000017	水路工 A-BF300型		m		1,000 m	歩A 当たり算出
P96017	深型水路BF300	1,000	個	9,400	9,400	
S05001	鉄筋コンクリートフリーム機械据付工 300,バックホウ (クレーン機能付) クロー型,受台無し,あり	1,000	m	3,117	3,117	S単 11号
	合 計				12,517	
	単 価				12,517	
	*** B単ー 18号 ***					
000018	水路工 A-BF500型		m		1,000 m	歩A 当たり算出
P96018	深型水路BF500	1,000	個	25,600	25,600	
S05001	鉄筋コンクリートフリーム機械据付工 500,バックホウ (クレーン機能付) クロー型,受台無し,あり	1,000	m	4,741	4,741	S単 12号
	合 計				30,341	
	単 価				30,341	
	*** B単ー 19号 ***					
000019	樹工 B-二次製品樹型		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
P96022	集水樹 630×630×810低版付	1,000	個	76,900	76,900	
SA0551	SP コンクリート分水槽据付 据付,80kgを超え200kg以下,無し,あり	1,000	基	3,446	3,446	S単 22号
	合 計				80,346	
	単 価				80,346	
	*** B単ー 20号 ***					
000020	硬質ポリ塩化ビニル管 VP φ150mm		m		1,000 m	歩A 当たり算出
S07021	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VP,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所	1,000	m	3,393	3,393	S単 13号
	合 計				3,393	
	単 価				3,393	
	*** B単ー 21号 ***					

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
000021	硬質ポリ塩化ビニル管継手材 VPφ150mm 22° 1/2 ベント		箇所		1,000	歩A 当たり算出
P96027	硬質ポリ塩化ビニル管 VPφ150mm 22° 1/2 ベント	1,000	個	9,955	9,955	
	合 計				9,955	
	単 価				9,955	
	*** B単ー 22号 ***					
000022	給水ゲート 角落し仕様 アルミ製スライドゲート(150×150)		箇所		1,000	歩A 当たり算出
P96001	給水ゲート 角落し仕様	1,000	箇所	107,000	107,000	
T00014	アルミ製スライドゲート据付 (自動給水ゲート) 角落し仕様	1,000	箇所	4,618	4,618	T単 4号
	合 計				111,618	
	単 価				111,618	
	*** B単ー 23号 ***					
000023	給水ゲート アンカー固定仕様 アルミ製スライドゲート(150×150)		箇所		1,000	歩A 当たり算出
P96002	給水ゲート アンカー固定仕様	1,000	箇所	107,000	107,000	
T00015	アルミ製スライドゲート据付 (自動給水ゲート) アンカー固定仕様	1,000	箇所	21,349	21,349	T単 5号
	合 計				128,349	
	単 価				128,349	
	*** B単ー 24号 ***					
000024	給水ゲート 樹仕様 アルミ製スライドゲート(150×150)		箇所		1,000	歩A 当たり算出
P96003	給水ゲート 樹仕様	1,000	箇所	107,000	107,000	
T00016	アルミ製スライドゲート据付 (自動給水ゲート) 樹仕様	1,000	箇所	21,349	21,349	T単 6号
	合 計				128,349	
	単 価				128,349	
	*** B単ー 25号 ***					
000025	自動給水機器 通信機器,電動アクチュエータ,操作パネル,ソーラー		箇所		1,000	歩A 当たり算出
P96004	自動給水機器 本体・バッテリー	1,000	箇所	149,000	149,000	
T00001	自動給水機器据付 本体・バッテリー	1,000	箇所	7,725	7,725	T単 1号
	合 計				156,725	
	単 価				156,725	
	*** B単ー 26号 ***					
000026	水位・水温計 - 0.05m～0.25m, 0° ～40℃		箇所		1,000	歩A 当たり算出
P96005	水位水温計	1,000	箇所	33,200	33,200	
T00002	水位水温計据付	1,000	箇所	5,528	5,528	T単 2号
	合 計				38,728	
	単 価				38,728	
	*** B単ー 27号 ***					
000027	通信中継機 ソーラーパネル電源仕様		箇所		1,000	歩A 当たり算出
P96009	通信中継機(ソーラー電源仕様)	1,000	箇所	327,000	327,000	

[illegible]

事業名	ICTモデル事業					
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事					
工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人力タコ		m3	3,023		歩A・単A
	*** S単ー 2号 ***					
S02111	コンクリートカット[乾式]					
	コンクリートカット[乾式] 切削深20cm級 プレート径44～56cm		日	152		歩A・単A
	*** S単ー 3号 ***					
S02115	はつり工					
	はつり工		人	28,356		歩A・単A
	*** S単ー 4号 ***					
S02115	設備機械工					
	設備機械工		人	27,438		歩A・単A
	*** S単ー 5号 ***					
S02115	普通作業員					
	普通作業員		人	19,380		歩A・単A
	*** S単ー 6号 ***					
S02123	殻処分費					
	殻処分費 鉄筋		ton	2,000		歩A・単A
	*** S単ー 7号 ***					
S02123	殻処分費					
	殻処分費 無筋		ton	2,000		歩A・単A
	*** S単ー 8号 ***					
S02721	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】 有筋,なし,人力,昼間施工,		m3	50,970		歩A・単A
	*** S単ー 9号 ***					
S02721	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】 無筋,なし,人力,昼間施工,		m3	30,200		歩A・単A
	*** S単ー 10号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工					
	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工 250,バックホウ(クレーン機能付) クローラ型,受台無し,あり		m	2,940		歩A・単A
	*** S単ー 11号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工					
	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工 300,バックホウ(クレーン機能付) クローラ型,受台無し,あり		m	3,117		歩A・単A
	*** S単ー 12号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工					
	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工 500,バックホウ(クレーン機能付) クローラ型,受台無し,あり		m	4,741		歩A・単A
	*** S単ー 13号 ***					
S07021	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設					
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VP,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所		m	3,393		歩A・単A
	*** S単ー 14号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)					
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)		m3	1,047		歩A・単A
	*** S単ー 15号 ***					
SA0103	SP 床掘り					
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-,		m3	2,006		歩A・単A
	*** S単ー 16号 ***					
SA0221	SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,28.4km以下,		m3	4,343		歩A・単A
	*** S単ー 17号 ***					
SA0221	SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,23.2km以下,		m3	3,023		歩A・単A
	*** S単ー 18号 ***					
SA0311	SP コンクリート					
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%		m3	34,550		歩A・単A
	*** S単ー 19号 ***					
SA0311	SP コンクリート					
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,,18-8-25(20)(高炉B) W/C65%		m3	29,630		歩A・単A
	*** S単ー 20号 ***					
SA0312	SP 型枠					
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物		m ²	7,611		歩A・単A
	*** S単ー 21号 ***					
SA0312	SP 型枠					

[illegible]

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人力タコ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分 2)作業区分	粘性土・礫質土 埋戻		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)施工区分 4)締固め区分	まき出し 人力タコ		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員		人	19,380	30,233	
		1.560				
	合 計				30,233	算出数量 10,000 m3
	単 価		m3		3,023	
	*** S単一 2号 ***					
S02111	コンクリートカット[乾式]		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	コンクリートカット[乾式] 切削深20cm級 プレート径44～56cm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格	M16475 切削深20cm級 プレート径44～56cm		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	152円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
M16475	コンクリートカット[乾式] 切削深20cm級 プレート径44～56cm		日	152	152	
		1.000				算出数量 1,000 各単位
	合 計				152	
	単 価				152	
	*** S単一 3号 ***					
S02115	はつり工		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	はつり工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R02007 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R02007	はつり工		人	28,356	28,356	
		1.000				算出数量 1,000 人
	合 計				28,356	
	単 価				28,356	
	*** S単一 4号 ***					
S02115	設備機械工		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	設備機械工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R02019 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R02019	設備機械工		人	27,438	27,438	
		1.000				算出数量 1,000 人
	合 計				27,438	
	単 価				27,438	
	*** S単一 5号 ***					
S02115	普通作業員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員		人	19,380	19,380	
		1.000				算出数量 1,000 人
	合 計				19,380	

事業名	ICTモデル事業				
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事				

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価				19,380	
	*** S単- 6号 ***					
S02123	穀処分費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	穀処分費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	鉄筋			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)地域資材単価コード	P96025		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)資材規格	鉄筋				
	3)単価の入力	0円				
P96025	穀処分費					
	鉄筋	1.000	ton	2,000	2,000	
	合 計				2,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				2,000	
	*** S単- 7号 ***					
S02123	穀処分費		ton		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	穀処分費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	無筋			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)地域資材単価コード	P96026		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)資材規格	無筋				
	3)単価の入力	0円				
P96026	穀処分費					
	無筋	1.000	ton	2,000	2,000	
	合 計				2,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				2,000	
	*** S単- 8号 ***					
S02721	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	有筋,なし,人力,昼間施工,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)作業区分	有筋		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)時間的制約	なし				
	3)施工区分Ⅰ	人力				
	4)施工区分Ⅱ	昼間施工				
A73512	構造物とりこわし工鉄筋構造物					
	制約無 人力 機労 昼間	1.000	m3	50,970	50,970	
	合 計				50,970	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		50,970	
	*** S単- 9号 ***					
S02721	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	無筋,なし,人力,昼間施工,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)作業区分	無筋		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)時間的制約	なし				
	3)施工区分Ⅰ	人力				
	4)施工区分Ⅱ	昼間施工				
A73502	構造物とりこわし工無筋構造物					
	制約無 人力 機労 昼間	1.000	m3	30,200	30,200	
	合 計				30,200	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		30,200	
	*** S単- 10号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーム機械据付工		m		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリートフリーム機械据付工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	250,パ ックホ (クレーン機能付) クロー型,受台無し,あり			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)製品規格	250		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	2)据付機械	パ ックホ (クレーン機能付) クロー型				
	3)受台の有無	受台無し				
	4)長期割引単価区分(賃料機械)	あり				

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P13003	鉄筋コンクリートフリーウム 250 260×240×4	13.300	個	0	0	
P13029	鉄筋コンクリートフリーウム接合部品 フリーウムタイト 250	13.300	枚	0	0	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	29,274	29,274	
R01002	特殊作業員	1.000	人	23,460	23,460	
R01003	普通作業員	3.000	人	19,380	58,140	
F08061	バックホウ[クローラ型・クレーン・～超低・排対型(～2011)] 標準バケット容量 山積0.45m3 (平積0.35m3) 吊能力2.9t	1.430	日	7,160	10,239	
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	26,520	26,520	
P34029	軽油 バトリル給油	55.000	L	149	8,195	
	合 計				155,828	算出数量 53.000 m
	単 価		m		2,940	
	*** S単一 11号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工		m		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工 300,バックホウ (クレーン機能付) クローラ型,受台無し,あり			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)製品規格	300		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)据付機械	バックホウ (クレーン機能付) クローラ型		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)受台の有無	受台無し		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)長期割引単価区分(賃料機械)	あり				
P13004	鉄筋コンクリートフリーウム 300 310×275×4	12.500	個	0	0	
P13030	鉄筋コンクリートフリーウム接合部品 フリーウムタイト 300	12.500	枚	0	0	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	29,274	29,274	
R01002	特殊作業員	1.000	人	23,460	23,460	
R01003	普通作業員	3.000	人	19,380	58,140	
F08061	バックホウ[クローラ型・クレーン・～超低・排対型(～2011)] 標準バケット容量 山積0.45m3 (平積0.35m3) 吊能力2.9t	1.430	日	7,160	10,239	
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	26,520	26,520	
P34029	軽油 バトリル給油	55.000	L	149	8,195	
	合 計				155,828	算出数量 50.000 m
	単 価		m		3,117	
	*** S単一 12号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工		m		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工 500,バックホウ (クレーン機能付) クローラ型,受台無し,あり			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)製品規格	500		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)据付機械	バックホウ (クレーン機能付) クローラ型		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)受台の有無	受台無し		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)長期割引単価区分(賃料機械)	あり				
P13008	鉄筋コンクリートフリーウム 500 530×425×4	9.800	個	0	0	
P13034	鉄筋コンクリートフリーウム接合部品 フリーウムタイト 500	9.800	枚	0	0	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	29,274	29,274	
R01002	特殊作業員	1.000	人	23,460	23,460	
R01003	普通作業員	4.500	人	19,380	87,210	
F08061	バックホウ[クローラ型・クレーン・～超低・排対型(～2011)] 標準バケット容量 山積0.45m3 (平積0.35m3) 吊能力2.9t	1.430	日	7,160	10,239	
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	26,520	26,520	
P34029	軽油 バトリル給油	55.000	L	149	8,195	
	合 計				184,898	算出数量 39.000 m
	単 価		m		4,741	

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 13号 ***					
S07021	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設		m		10,000 m	歩A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VP,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)管種区分 2)管径区分(mm)	VP 150mm		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)形状区分 4)管長区分 5)接合箇所	直管(両差し口) 4.0m管 0箇所		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P05030	硬質ポリ塩化ビニル管 一般管VP 径150 長4.0m	2.440	本	9,870	24,083	
Y00004	雑材料費	0.020		24,083	482	
R01001	土木一般世話役	0.090	人	29,274	2,635	
R01002	特殊作業員	0.130	人	23,460	3,050	
R01003	普通作業員	0.190	人	19,380	3,682	
	合 計				33,932	算出数量 10,000 m
	単 価		m		3,393	
	*** S単- 14号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)作業内容	土砂 小規模(標準)				
	単 価		m3		1,047	
	*** S単- 15号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 上記以外(小規模) - -				
	単 価		m3		2,006	
	*** S単- 16号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,28.4km以下,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 28.4km以下				
	単 価		m3		4,343	
	*** S単- 17号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,23.2km以下,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1) 穀発生作業 2) 積込工法区分 3) DID区間の有無 4) 運搬距離	コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 23.2km以下				
	単 価		m3		3,023	
	*** S単ー 18号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8-25 (20) (高炉B) W/C65%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1) 構造物種別 2) 打設工法 3) コンクリートの計上 4) 設計日打設量 5) 養生工の種類 6) 圧送管延長距離区分 7) 現場内小運搬の有無 8) 打設高さ、水平打設距離 10) 規格区分	小型構造物 人力打設 計上する - 一般養生 - 無し - 18-8-25 (20) (高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		34,550	
	*** S単ー 19号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, 18-8- 25 (20) (高炉B) W/C65%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1) 構造物種別 2) 打設工法 3) コンクリートの計上 4) 設計日打設量 5) 養生工の種類 6) 圧送管延長距離区分 7) 現場内小運搬の有無 8) 打設高さ、水平打設距離 10) 規格区分	無筋・鉄筋構造物 人力打設 計上する - 一般養生 - 無し - 18-8-25 (20) (高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		29,630	
	*** S単ー 20号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠, 小型構造物			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1) 型枠の種類 2) 構造物の種類	一般型枠 小型構造物				
	単 価		m ²		7,611	
	*** S単ー 21号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠, 均しコンクリート			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	

[illegible]

[illegible]

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単- 1号 ***					
T00001	自動給水機器据付		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	本体・バッテリー					
S02115	設備機械工	0.150	人	27,438	4,116	S単 4号
S02115	普通作業員	0.150	人	19,380	2,907	S単 5号
Y00004	雑品	0.100		7,023	702	
	合 計				7,725	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		7,725	
	*** T単- 2号 ***					
T00002	水位水温計据付		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
S02115	設備機械工	0.050	人	27,438	1,372	S単 4号
S02115	普通作業員	0.100	人	19,380	1,938	S単 5号
Y00004	雑品	0.670		3,310	2,218	
	合 計				5,528	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		5,528	
	*** T単- 3号 ***					
T00003	通信中継機据付		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
S02115	設備機械工	0.500	人	27,438	13,719	S単 4号
S02115	普通作業員	1.000	人	19,380	19,380	S単 5号
Y00004	雑品	0.490		33,099	16,219	
	合 計				49,318	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		49,318	
	*** T単- 4号 ***					
T00014	アルミ製スライドゲート据付 (自動給水ゲート)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	角落仕様					
S02115	設備機械工	0.100	人	27,438	2,744	S単 4号
S02115	普通作業員	0.075	人	19,380	1,454	S単 5号
Y00004	雑品	0.100		4,198	420	
	合 計				4,618	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		4,618	
	*** T単- 5号 ***					
T00015	アルミ製スライドゲート据付 (自動給水ゲート)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	アンカー固定仕様					
S02115	設備機械工	0.500	人	27,438	13,719	S単 4号
S02115	普通作業員	0.250	人	19,380	4,845	S単 5号
Y00004	雑品	0.150		18,564	2,785	
	合 計				21,349	算出数量 1.000 箇所

[illegible]

令和6年度ICTモデル事業
大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事

特別仕様書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

令和6年度ICTモデル事業大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）に基づいて実施する。

なお、共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、ICT技術の活用による自動制御・遠隔監視、無効放流の削減、水管理労力の削減のための大野川上流地区ICT整備構想に基づき、大野川上流地区内の政所支線分水路内において関係施設の整備を行うものである。

2. 工事場所

大分県竹田市荻町地内

3. 工事概要

本工事の概要は次のとおりである。

分水内水路・付帯工整備		1 式
内訳	二次製品水路（BF250、BF300、BF500）	L = 40.00m
	現場打水路（300×400）	2 箇所
	二次製品柵（400×400）	1 箇所
	自動給水ゲート整備（150×150）	62 箇所
	通信中継機整備	1 箇所

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のとおりである。

第3章 施工条件

1. 工事期間中の休業

工事期間中の休業日としては、雨天・休日等25日を見込んでいる。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇を含んでいる。

2. 施工しない日

原則、土曜日及び日曜日、祝・祭日、年末年始休暇（12月29日～1月3日）。

ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施を取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

なお、冬期間の気象条件等により上記の工事を施工しない日においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

3. 施工しない時間帯

原則、平日の午後6時から午前8時まで。

なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第4章 現場条件

1. 土質

本工事の施工場所の土質は、砂質土を想定している。

2. 関連工事

本工事に関連する工事として次に示す工事を予定しているので、監督職員及び関連する工事の責任者と十分連絡、協議し工事工程に支障が生じないように調整しなければならない。

令和5年度ICTモデル事業大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事
(施工予定時期 令和6年10月～令和7年3月)

3. 第三者に対する措置

本工事は、民地内等において地元土地改良区及び関係農家が所有する農業用水路及び周辺の整備を行う工事が主体であることから、このような箇所の施工に当たっては、土地改良区や関係農家の苦情等が工事中や工事後においても生じることのないよう、既設水路や法面、畦畔、圃場面等の現況施設を傷めないように十分配慮して工事を行うものとする。

第5章 工事用地等

1. 発注者が確保している用地

工事施行に必要な用地は、施工箇所直近の畦畔・圃場面を使用するものとする。

第6章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第7章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。

(1) コンクリート

コンクリートはレディーミクストコンクリートとし、種類は次のとおりとする。

種類	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材 の最大 寸法 (mm)	水セメント 比 (W/C) (%)	セメントの 種類に よる 記号	使用目的
無筋コン クリート	18	8	25	60以 下	BB	一般構造物 均しコンクリート

※粗骨材最大寸法 25 mmは、地域的に骨材の入手が困難な場合 20 mmの使用を可能とする。

(2) コンクリート二次製品

BF250 型、BF300 型、BF500 型： JISA5372

(3) 硬質ポリ塩化ビニル管

直管 (VP φ 150) JISK6741

異形管 (VP φ 150) JISK6743

(4) 自動給水ゲート資材

名 称	規 格
給水ゲート 角落し仕様	有効高 150mm、有効幅 150mm 扉体材質：AL PL8 4方水密
給水ゲート アンカー固定仕様	有効高 150mm、有効幅 150mm 扉体材質：AL PL8 4方水密

給水ゲート 柵仕様	有効高 150mm、有効幅 150mm 扉体材質：AL PL8 4方水密
-----------	---

(5) 自動給水ゲート電気設備資材

名 称	規 格
自動給水機器(本体+バッテリー)	通信機器・電動アクチュエーター・操作パネル・ソーラーパネル一体型 通信方式：通信集約型 ※構造は、自動給水ゲートとの接合が可能な構造又はアタッチメント付でバッテリー内蔵（交換可能）型とする。また、水位水温計との接続可能なものとする。 ※操作は、スマートフォンによる遠隔操作、タイマー操作（日別設定可能）、クラウド制御システムによるプログラム操作（別途開発）、水位計連動運転、機側操作が可能なものとする。
水位、水温計	構造：静電容量式水位計、測定水位：-0.05m～0.25m、測定温度：0℃～40℃、付属品：専用中空ケーブル 3m程度（自動給水機器と接続）

(6) 自動給水ゲート取付水路関係資材

名 称	規 格
深型水路 BF250 型	大分県標準規格 ベンチフリューム分水溝溜底
深型水路 BF300 型	大分県標準規格 ベンチフリューム分水溝溜底
深型水路 BF500 型	大分県標準規格 ベンチフリューム分水溝溜底
集水柵	630×630×810 底版付

(7) 通信中継設備関係資材

名 称	規 格
通信中継機(ソーラー電源仕様)	自動給水ゲートを最大 80 台制御 電源：ソーラーパネル 通信ボックス IPX5(JIS C 0920)相当 通信ボックス IP67(JIS C 0920)相当
ソーラーパネルユニット	通信中継器に適合する規格

2. 見本又は資料提出

- (1) 主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材 料 名	提 出 物
石材及び骨材	試験成績書、粒度分布表
硬質ポリ塩化ビニル管	カタログ等
コンクリート二次製品	カタログ又は試験成績書等
ゲート、自動化・通信資材	カタログ等

- (2) 監督職員の検査又は試験

次に示す工事材料は、使用前に監督職員の検査又は試験を受けなければならない。

材料名	検査・試験項目	備考
管 材	寸法・外観	抽 出
コンクリート二次製品	寸法・外観	抽 出
そ の 他 主 要 材 料	現場搬入時外観寸法検査	抽 出

第8章 施工

1. 一般事項

(1) 水準点等

本工事は、既設水路の局所整備を行うものであるため水準点等を設けていないが、図面に示す既設構造物の位置、高さ、寸法等の現地条件に合わせて施工を行う必要から、工事実施前に寸法等を計測して監督職員に実施寸法を確認した上で施工することとし、工事完了後に水路としての流水等の施設機能を損なうことのないようにしなければならない。

(2) 検測又は確認（施工段階確認）

- 1) 本工事は、施工段階確認は、下表に示すとおりである。ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。
- 2) 下表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。

工 種	確認内容	確認時期・頻度 (一般監督)	確認時期・頻度 (重点監督)	備考
自動給水ゲート	扉体の全幅、水密幅	出来形管理	現地据付時	同種の初回
電動設備・遠隔自動操作設備	据付状態、外観状態	出来形管理	現地据付時	同種の初回

2. 建設資材廃棄物等の搬出

本工事は、施工に伴い発生する建設資材廃棄物等を本現場内で利用することが困難な場合は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

建設資材 廃 棄 物	処 理 施設名	住所	受け入れ 時 間	事業区分
コンクリート塊 (有筋)	友岡組	大分県豊後大野市 大野町大原 1172-2	8 時～17 時	再資源化施設業者
コンクリート塊 (無筋)	(有)竹田産業 廃棄物環境	大分県竹田市大字 枝 1893	8 時～17 時	再資源化施設業者

3. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (構造物撤去)	その他の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用

4. 土工

(1) 掘削

- ① 掘削土は、全て埋戻し材として流用することとしている。
- ② 掘削に当たっては、法面の崩落に十分注意して施工しなければならない。
- ③ 法面の崩落により他の施設に重大な影響が発生又は、そのおそれが認められる場合は、速やかに監督職員と協議しなければならない。

(2) 埋戻し

埋戻し材は一層の仕上り厚さが30cm程度になるようにまき出して締め固めなければならない。

5. 分水内水路整備

二次製品水路・柵等の布設は現況勾配・断面に掘削し、十分な基盤面仕上げの後に布設するものとする。

6. 既設水路撤去

工事に伴い撤去する水路・既設管・水口ゲート等の既設物については、極力破損のないよう丁寧に撤去を行い、工事箇所脇の監督職員が指定する位置に存置するものとする。

7. 通信中継設備設置

通信中継局の設置において、単管パイプは所定の根入れを確保し、基礎及び関係機器との固定を強固なものとしなければならない。

第9章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者等の資格は、入札説明書によるものとする。

2. 施工管理

受注者は、現地施工完了後に発注者が行う通水試験・自動ゲート試運転調整に立会うものとする。なお、通水試験・自動ゲート試運転調整において受注者の責任に起因する異常が認められた場合は、受注者の責任において処理するものとする。

3. 工事写真における黒板情報の電子化について

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「機器等」という。)は、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。
- (3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い
 - 1) 受注者は、(1) の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
 - 2) 本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記1) に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
 - 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。
- (4) 写真の納品

受注者は、(3) に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (https://www.cals.jaic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。
- (5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

5. 工事現場等における遠隔確認について

- (1) 本工事は、施工段階確認、材料検査、立会等による確認を受注者がウェアラブルカメラ等により撮影した映像と音声を監督職員等に同時配信し、双方向通信により会話をしながら監督職員等がモニター上で工事現場等の確認（以下「遠隔確認」という）を行う工事である。
- (2) 遠隔確認の活用は、別添の「工事現場等における遠隔確認に関する試行要領」によるものとする。
- (3) 受注者は、本工事において施工状況を確認するためにウェアラブルカメラ等による撮影を行っていることを施工現場に掲示して周辺住民等の理解につとめなければならない。
- (4) 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、これに協力しなければならない。
- (5) 本試行にかかる費用は一括計上価格に計上する。

第10章 天災その他不可抗力

天災その他の不可抗力による損害は、工事請負契約書第30条によるものとする。

第11章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

1. 土 質
2. 転石の出現
3. 排水量
4. 地下埋設物（埋蔵文化財を含む）の出現
5. その他

第12章 その他

1. 契約後VE提案

(1) 定義

「VE提案」とは、工事請負契約書第19条の2の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) VE提案の意義及び範囲

① VE提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。

② ただし、次の提案は、VE提案の範囲に含めないものとする。

(ア) 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案

(イ) 工事請負契約書第18条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の提案

(ウ) 競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) VE提案書の提出

① 受注者は、(2)のVE提案を行う場合、次に掲げる事項をVE提案書（共通仕様書様式6-1～(4)に記載し、発注者に提出しなければならない。

(ア) 設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由

(イ) VE提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）

(ウ) VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠

(エ) 発注者が別途発注する関連工事との関係

(オ) 工業所有権を含むVE提案である場合、その取り扱いに関する事項

(カ) その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項

② 発注者は、提出されたVE提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。

③ 受注者は、VE提案を契約締結の日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する日の35日前までに、発注者に提出できるものとする。

④ VE提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) VE提案の適否等

① 発注者は、VE提案の採否について、原則として、VE提案を受領した日の翌日から14日以内に書面（共通仕様書 様式6-5）により通知するものとする。ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、受注者の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。

② また、VE提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

③ VE提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価する。

④ 発注者は、VE提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第19条の2（設計図書の変更に係る受注者の提案）の規定に基づくものとする。

⑤ 発注者は、VE提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第25条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。

⑥ 前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する額（以下、「VE管理費」という。）を削減しないものとする。

⑦ VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者がVE提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。

⑧ 発注者は、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第25条（請負代金額の変更方法等）第1項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記⑥のVE管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰することができない理由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

(5) VE 提案書の使用

発注者は、VE 提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容が無償で使用する権利を有するものとする。

(6) 責任の所在

発注者が VE 提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE 提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこととする。

2. 入札後契約前 VE 提案

工事請負契約書第 18 条の条件変更が生じた場合においても、入札後契約前 VE 管理費については原則として変更はしないものとする。ただし、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者の協議により定めるものとする。

3. 電子納品

工事完成図書を、共通仕様書第 1 編 1-1-37 に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成図書の電子媒体（CD-R、DVD-R）正副 2 部

4. 配置予定監理技術者等の専任期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。

また、現場への専任の期間については、契約工期が基本となるが、契約工期内であっても、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「合格通知書」における日付）とする。

5. ワンデーレスポンス実施に関する事項

「ワンデーレスポンス」とは、監督職員が受注者からの協議等に対する指示、通知を原則「その日のうち」に回答する対応である。ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

なお、「その日のうち」とは午前中に協議等が行われたものは、その日のうちに回答することを原則とし、午後には協議等が行われたものは、翌日中に回答するものとする。ただし、原則として閉庁日を除く。

6. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」（農水省WEBサイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

(1) 工事円滑化会議（施工条件確認会議）

工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が、現場代理人、受注会社幹部に設計の考え方等を説明し、共有を図るものとする。なお、開催日程、出席者、課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(2) 工事円滑化会議（工程確認会議）

工事着手時および新工種発生時等、受発注者間において、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が、現場条件、施工計画、工事工程等について、確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するも

のとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督員の協議により定めるものとする。

(3) 設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続きや工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が工期、設計変更内容、技術提案の履行状況等について高いレベルで確認する設計変更確認会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督員と協議し定めるものとする。

(4) 対策検討会議

工事実施中において、自然的又は人為的な要因等により、工事の工期、設計及び施工等に大きな影響をもたらす重大な事象が発生した際に、調査設計段階の検討内容を含めた技術課題等の迅速な解決に向けて、現場代理人・受注会社幹部並びに各地方農政局地方参事官（議長）・関係課職員、事務所長、次長、総括監督員、主任監督員、監督員が対応方針の協議・確認を行う対策検討会議を開催することができるものとする。なお、対策検討会議は、現場代理人又は監督職員が工事円滑化会議等において協議の上開催する。

(5) 建設コンサルタントの出席

上記(1)、(2)、(3)及び(4)の会議に必要な応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。

なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費の中の通信交通費に含まれるものと考えており、開催回数に関わらず変更契約の対象としない。

(6) 工事円滑化会議、設計変更確認会議及び対策検討会議において確認した事項については、打合せ記録簿（共通仕様書 様式-42）に記録し、相互に確認するものとする。

7. 現場環境の改善の試行

本工事は、だれでも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

(1) 内容

受注者は、現場に以下のア～サの仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。ただし、シ～チについては、満たしていればより快適に使用できるものと思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- ア 様式（洋風）便器
- イ 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- ウ 臭い逆流防止機能
- エ 容易に開かない施錠機能
- オ 照明設備
- カ 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

- キ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ク 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ケ サニタリーボックス
- コ 鍵と手洗器
- サ 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- シ 便房内寸法900×900mm以上（面積ではない）
- ス 擬音装置（機能を含む）
- セ 着替え台
- ソ 臭気対策機能の多重化
- タ 室内温度の調整が可能な設備
- チ 小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）

(2) 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記（１）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】ア～カ及び【付属品として備えるもの】キ～チの費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円／基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事（施工箇所）までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事（施工箇所）より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

（３）快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本項の対象外とする。

８．週休 2 日による施工

（１）本工事は、週休 2 日を実施した場合に対象期間中の現場閉所状況に応じて労 務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正し設計変更を行う試行対象工事である。受注者は、週休 2 日を実施する希望がある場合、契約後、工事着手前日までに週休 2 日の実施計画書を監督職員へ提出し、本試行を適用することができる。

（２）「週休 2 日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、4 週 8 休以上となることをいい、対象期間内の現場閉所日数の割合が 28.5%（8 日／28 日）以上の水準に達する状態をいう。なお、ここでいう対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

① 対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として 12 月 29 日から 1 月 3 日までの 6 日間、8 月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間※注のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

（注）余裕期間については、余裕期間設定工事の場合に記載する。

② 現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1 日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。

③ 降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

（３）週休 2 日（4 週 8 休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。

① 受注者は、週休 2 日の実施を希望する場合、契約後、工事着手前日までに週休 2 日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。

② 受注者は、週休 2 日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、週休 2 日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。

③ 監督職員は、上記受注者からの報告により週休 2 日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。

④ 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記②の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。

⑤ 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。

（４）監督職員が週休 2 日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。

（５）発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率 分）を補正し設計変更を行うものとする。

①補正係数

	4 週 8 休以上 〔現場閉所率 28.5%（8 日/28 日）以上〕
労務費	1.02
機械経費（賃料）	1.02
共通仮設費（率分）	1.02

現場管理費（率分）	1.05
-----------	------

②補正方法

当初積算において4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。また、発注者は工事完成時に現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、工事請負契約書第 25 条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき上記①に示す補正係数による補正を行わずに減額変更する。なお、工事着手前に週休2日に取り組むことについて監督 職員へ報告しなかったもの（受注者が週休2日の取組を希望しないものを含む）については、当初積算の補正分を全て減ずるものとする。

（6）週休2日の確保に取り組む工事において、市場単価方式・土木工事標準単価 による積算に当たっては、現場閉所状況に応じて、以下のとおり補正する。

名称	区分	補正係数
		4週8休以上
排水構造物工	人力	1.02
構造物とりこわし工		1.02

9. 週休2日制の促進

（1）本工事は、週休2日制を促進するため、現場閉所状況に応じて「地方農政局工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成15年2月19日付け14地第759号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）に基づく工事成績評定において加点評価を行うとともに、週休2日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。

（2）発注者は、現場閉所状況が4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日／28日）以上）と確認した場合は、工事成績評定において加点評価するものとする。ただし、工事成績評定に基づく工事成績の合計は100点を超えないものとする。なお、加点評価に当たっては、以下のとおりとする。

- ① 他の模範となるような受注企業の働き方改革に係る取組を本工事において実施した場合は、工事成績要領別紙5に示す「4. 創意工夫」に、次の評価項目を追加した上で最大2点を加点評価する。なお、複数事項への取組や実施状況の内容に応じて1点、2点で評価する。

○監督職員用

【働き方改革】

- ☐ 週休2日（4週8休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。
☐ 若手や女性技術者の登用など、担い手の確保に向けた取組が図られている。

- ② 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成した場合は、工事成績要領別紙3-1に示す「2. 施工状況（Ⅱ工程管理）」に、次の2つの評価項目を追加し、両方で加点評価する。ただし、週休2日に満たない（休日率4週6休以上）場合は、「休日の確保を行った。」のみを評価する。

○監督職員用

- ☐ 休日の確保を行った。
☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行った。〕

○事業（務）所長用

- ☐ 工程管理に係る積極的な取組が見られた。
☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保に取り組んだ。〕

- ③ 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成したことに加え、対象期間内の全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った場合は、工事成績要領別紙8に示す「7. 法令遵守等」に次の評価項目を追加した上で1点を加点評価する。

○事業（務）所長

□その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行ったとともに全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った。〕

（3）監督職員は、受注者からの報告により現場閉所状況が4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）と確認した場合は、履行実績取組証明書を発行するものとする。

10. 現場環境改善費

（1）現場環境改善費の内容は以下のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督職員と協議実施する。なお、内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

（2）以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。

（3）受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を督監職員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減
営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ②労働宿舍の快適化 ③デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ④現場休憩所の快適化 ⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ②盗難防止対策（警報器等） ③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む） ②完成予想図 ③工法説明図 ④工事工程表 ⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む） ⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑧パンフレット・工法説明ビデオ ⑨社会貢献

11. 地域外からの労務者確保に要する間接工事費の設計変更

（1）本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事施工にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じることが考えられる。契約締結後、受注者の責によらない地元調整等により施工計画に変更が生じ、積算基準の金額想定では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

（2）発注者は、契約締結後、受注者から請負代金内訳書の提出があった場合、共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。

- (3) 受注者は、契約締結後、2)により発注者から示された割合を参考にして、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する実施計画書（以下「様式1」という。）を作成し、監督職員に提出するものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する変更実施計画書（以下「様式2」という。）を作成するとともに、様式2に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「積算基準に基づき算出した額」から「様式1に記載された共通仮設費（率分）と現場管理費の合計額」を差し引いた後、「(4)で受注者から提出された証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

1 2. 1日未満で完了する作業の積算

- (1) 本工事における1日未満で完了する作業の積算（以下、「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (5) 災害復旧工事等で人工精算する場合や、「時間的制約を受ける工事の積算方法」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

1 3. 共通仮設費率分の適切な設計変更について

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
運搬費：建設機械の運搬費
準備費：伐開・除根・除草費
- (2) 発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
- (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書（以下「内訳書」という。）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準に基づき算出した額」から「内訳書に記載された共通仮設費（率分）の合計額」を差し引いた後、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」

を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。

(7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。

(8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

1 4. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者の確保などが図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、別記別紙様式 1 により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている 101 日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに別記様式 1 と併せて、休日を確保していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の日から令和 7 年 3 月 10 日（工事完了期限日）まで

1 5. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

1 6. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第 13 章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
直接工事費（仮設工を除く）				
1. 自動給水ゲート設置工				
（1）作業土工（自動給水ゲート周辺部）				
床掘	土砂	式	1	
埋戻し	流用土	式	1	
（2）作業土工（給水管部）				
床掘	土砂	式	1	
埋戻し	流用土	式	1	
（3）既設構造物取壊し工				
コンクリート切断	既設水路切断	m	5.400	
構造物取壊し	コンクリート, 有筋	m3	2.600	
構造物取壊し	コンクリート, 無筋	m3	0.700	
殻運搬	コンクリート, 有筋	m3	2.600	
殻運搬	コンクリート, 無筋	m3	0.700	
殻処分	コンクリート, 有筋	ton	6.500	
殻処分	コンクリート, 無筋	ton	1.600	
（4）コンクリート工	現場打水路・均しコンクリート			
コンクリート工	18-8-25(20)(高炉B)	m3	4.400	
型枠（構造物）		式	1	
均しコンクリート	18 - 8 - 20	m3	0.400	
型枠（均しコンクリート）		式	1	
（5）自動給水ゲート取付水路等				
水路工	A-BF250型	m	35.000	
水路工	A-BF300型	m	4.000	
水路工	A-BF500型	m	1.000	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
柵工	B-二次製品柵型	箇所	1.000	
(6)給水管整備工				
硬質ポリ塩化ビニル管	VPφ150mm	m	13.000	
硬質ポリ塩化ビニル管継手材	VPφ150mm 22° 1/2 ベント	箇所	16.000	
(7)自動給水ゲート設置工				
給水ゲート 角落し仕様	アルミ製スライドゲート (150×150)	箇所	47.000	
給水ゲート アンカー固定仕様	アルミ製スライドゲート (150×150)	箇所	14.000	
給水ゲート 柵仕様	アルミ製スライドゲート (150×150)	箇所	1.000	
(8)自動給水機器設置工				
自動給水機器	通信機器, 電動アクチュエータ, 操作パネル, ソーラー	箇所	62.000	
水位・水温計	- 0.05m~0.25m, 0° ~ 40℃	箇所	62.000	
(9)通信中継機設置工				
通信中継機	ソーラーパネル電源仕様	箇所	1.000	

令和6年度ICTモデル事業
大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事
図面目録

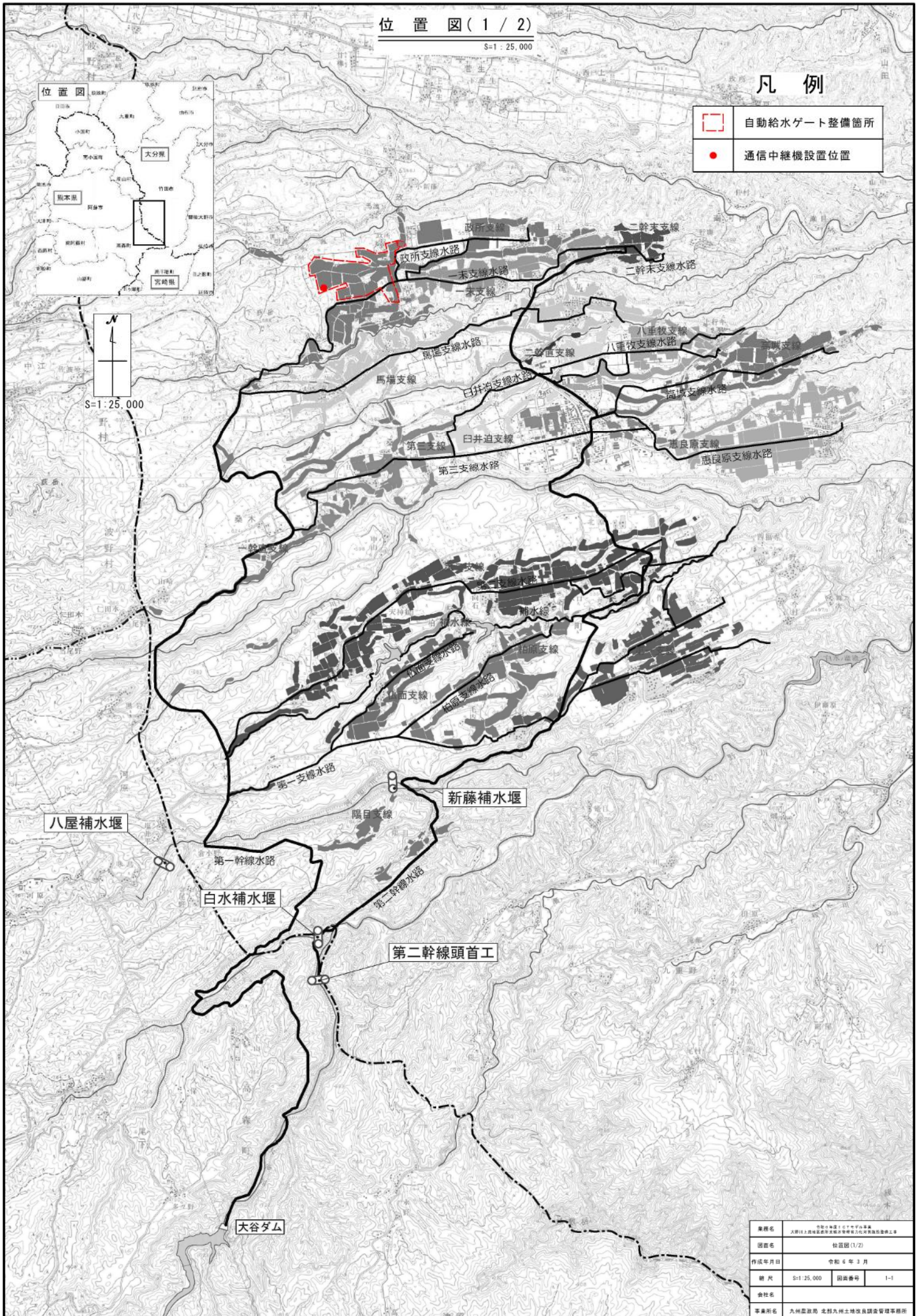
[illegible]

位置図(1/2)

S=1:25,000

凡例

	自動給水ゲート整備箇所
	通信中継機設置位置



業務名	大分県上野原地区農業用水利事業改善事業(水門・水路・水路施設等)工事
図面名	位置図(1/2)
作成年月日	令和6年3月
縮尺	S=1:25,000 図面番号 1-1
業社名	九州建設局 北九州土地改良課 管理事務所

位置図(2/2)

S=1:7,500

S=1:7500

政所支線水路

馬場支線水路

政所支線水路

一幹末支線水路

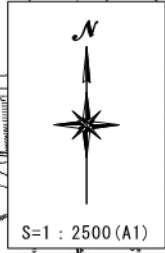
凡例

- 自動給水ゲート整備箇所
- 通信中継機設置位置

0 500 1000m

業務名	大野村上流地区治水対策事業(治水対策)第2期工事		
図面名	位置図(2/2)		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	S=1:7,500	図面番号	1-2
会社名	九州建設 北九州土地改良調査事務所		
事業所名	九州建設 北九州土地改良調査事務所		

自動給水ゲート設置計画平面図



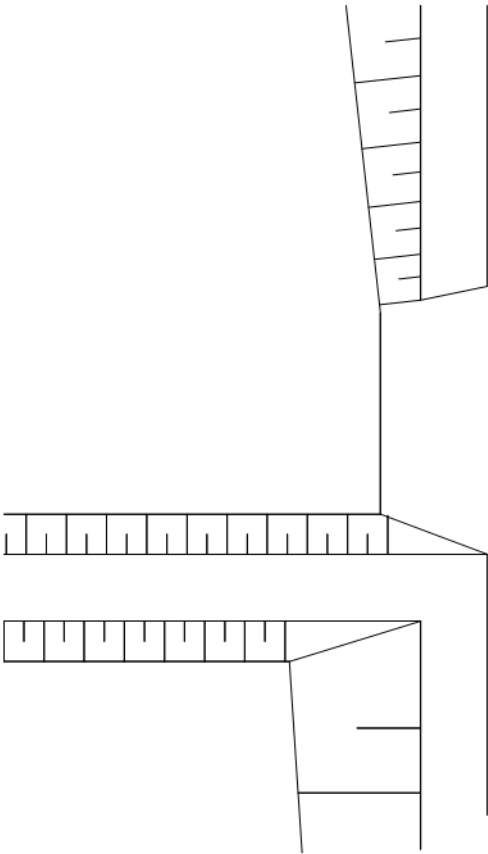
凡 例

- ① 自動給水ゲートA-BF250型
- ② 自動給水ゲートA-BF300型
- ③ 自動給水ゲートA-U500型
- ④ 自動給水ゲートB-二次製品樹型
- ⑤ B-現場打型
- ⑥ 既設直付型

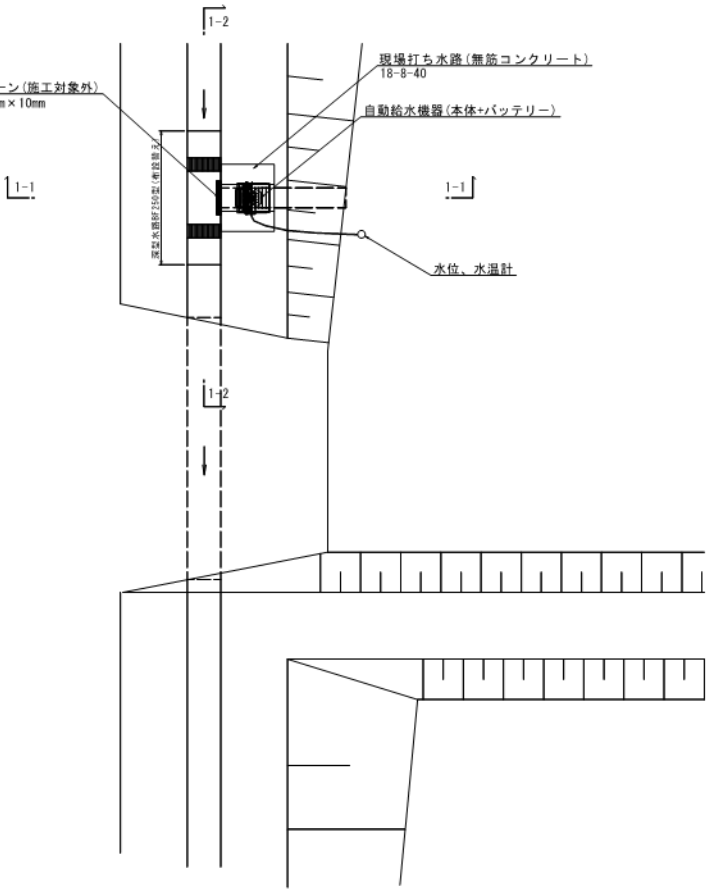
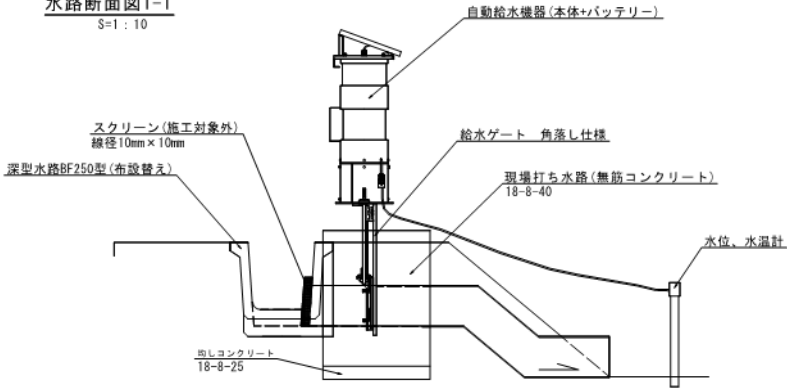
業種名	大野川上流地区農業用水管理委員会		
図面名	自動給水ゲート設置計画平面図		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮 尺	S=1:2,500	図面番号	2
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良団管理事務所		

①型：自動給水ゲート A-BF250型 標準図(1/2)

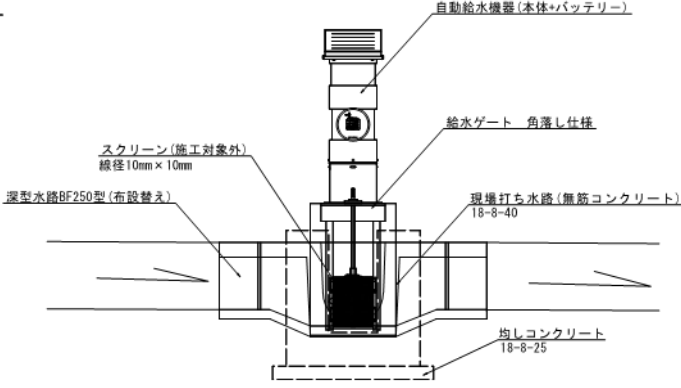
平面図
S=1 : 20



水路断面図1-1
S=1 : 10



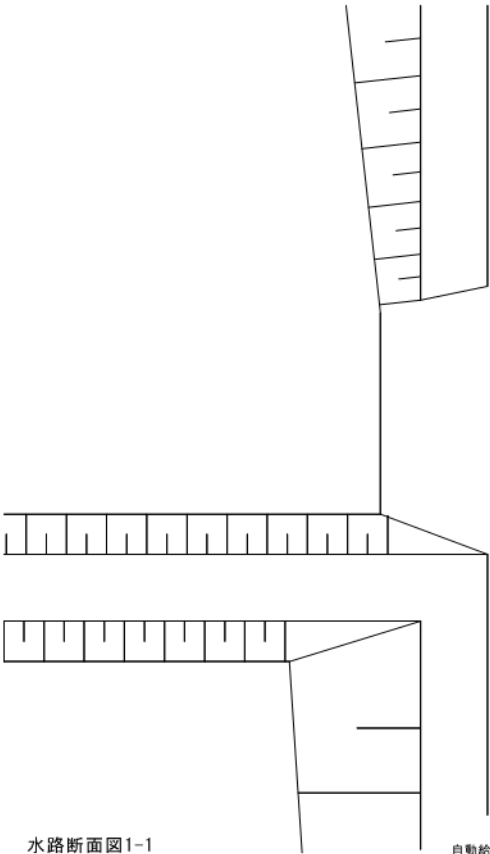
水路縦断面図1-2
S=1 : 10



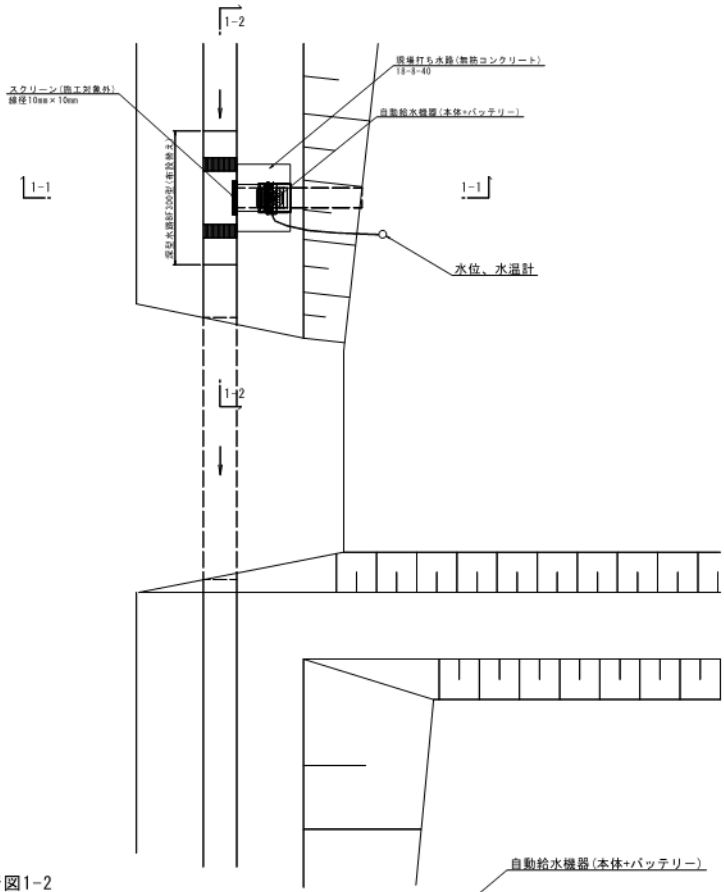
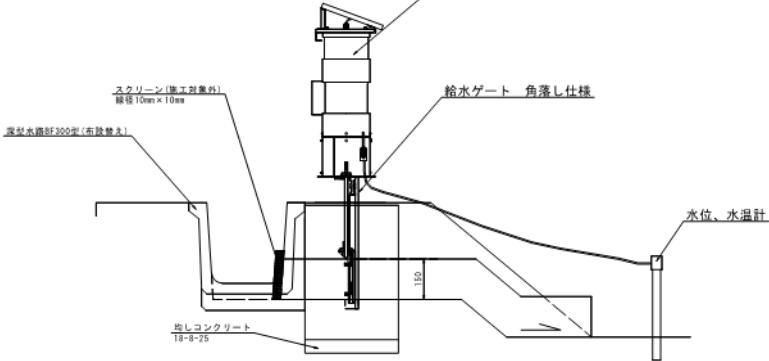
業種名	大野川上流地区農業用水供給事業 大野川上流地区農業用水供給事業用水路建設工事		
図面名	①型 自動給水ゲート A-BF250型 標準図(1/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮 尺	図示	図番番号	3-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査事務所		

②型：自動給水ゲート A-BF300型 標準図(1/2)

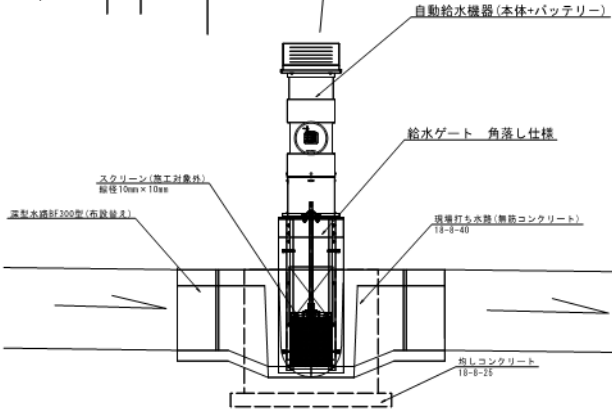
平面図
S=1 : 20



水路断面図1-1
S=1 : 10



水路断面図1-2
S=1 : 10

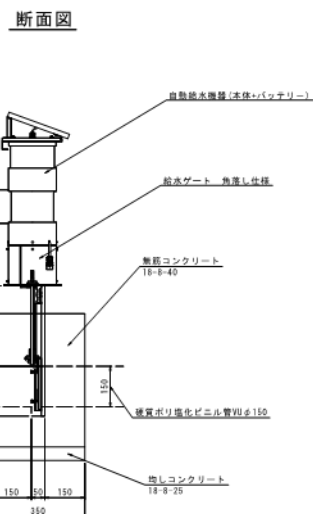
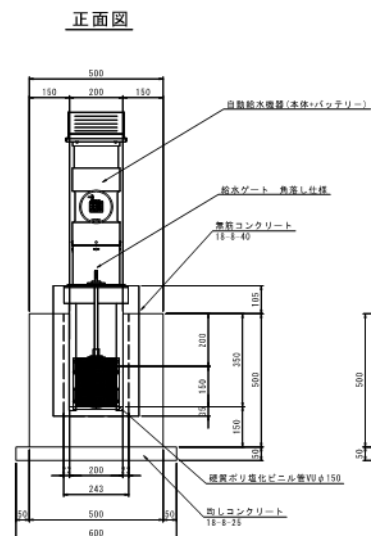
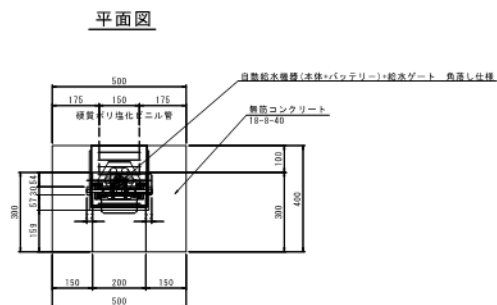


業種名	大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業（大野川上流治水対策事業）		
図面名	②型 自動給水ゲート A-BF300型 標準図(1/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮 尺	図示	図面番号	4-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

②型:自動給水ゲート A-BF300型 標準図(2/2)

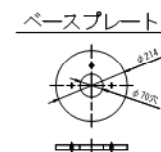
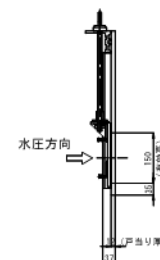
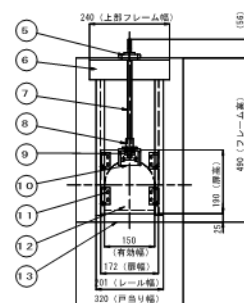
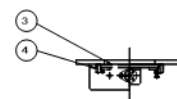
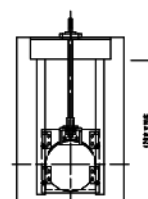
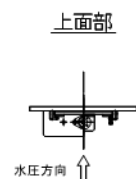
水路直接A型現場打水路構造図

S=1 : 10



給水ゲート 角落し仕様
参考図（ゲート標準図）

S=1 : 8



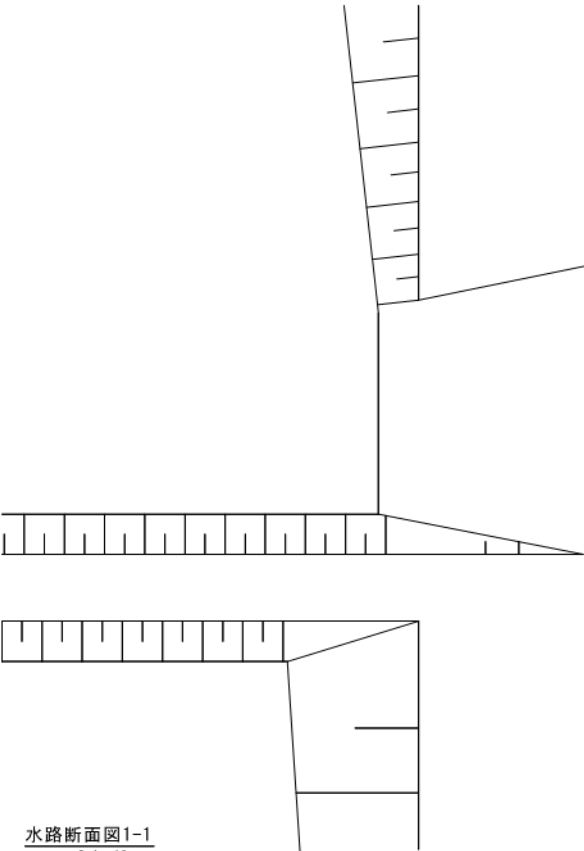
番 号	名 称	数 量	材 質
1	-	-	-
2	-	-	-
3	止水ゴム	1	CR PL3
4	レール	2	AL
5	ビロー	1	H-PVC
6	上部フレーム	1	A6063
7	スピンドル	1	SUS303 ϕ 12 (2条)
8	フランジナット	1	CAC406 (2条)
9	ストッパー	1	AL
10	ナットベース	1	ABS
11	クサビ	4	SGS13
12	胴体	1	AL PL8
13	戸当り	1	H-PVC PL12

	(mm)
リード	6
揚 程	160
最大揚程	210
有効高	150
有効幅	150

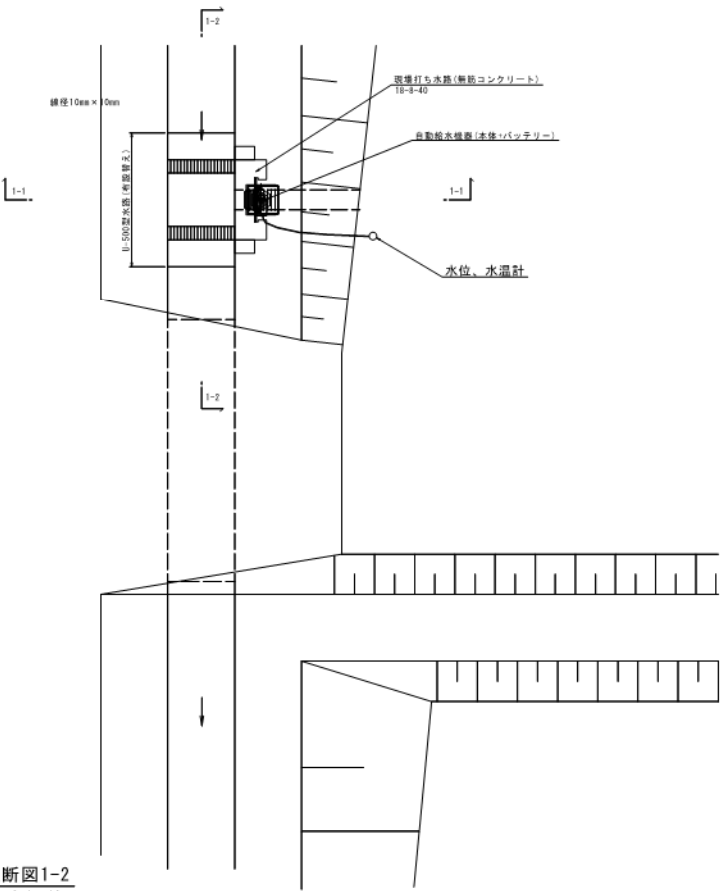
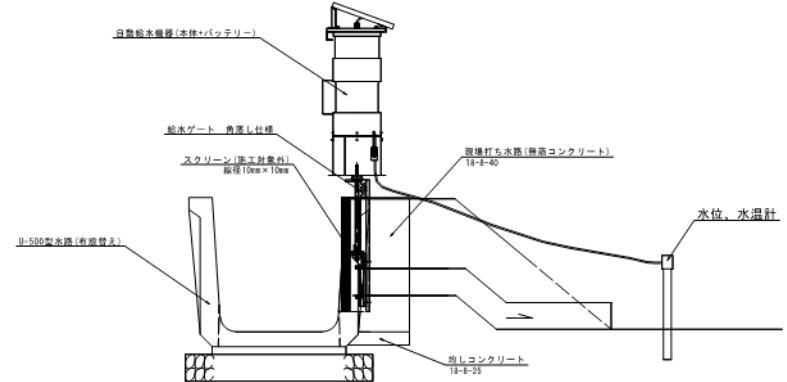
業種名	令和元年度ITシステム事業 大府川上流治水対策事業推進能力強化対策設備工事		
図面名	②型 自動給水ゲート A-BF300型 標準型 (2/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	4-2
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良局管理事務所		

③型：自動給水ゲート A-U500型 標準図 (1/2)

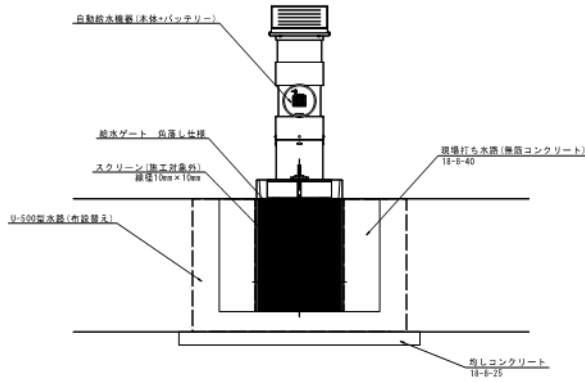
平面図
S=1 : 20



水路断面図1-1
S=1 : 10



水路縦断面図1-2
S=1 : 10



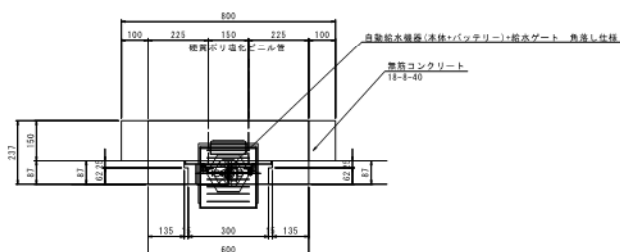
業種名	九州農政局 北部九州土地改良事業管理事務所		
図面名	③型：自動給水ゲート A-U500型 標準図 (1/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮 尺	図示	図面番号	S-1
会社名	九州農政局 北部九州土地改良事業管理事務所		
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良事業管理事務所		

③型：自動給水ゲート A-U500型 標準図 (2/2)

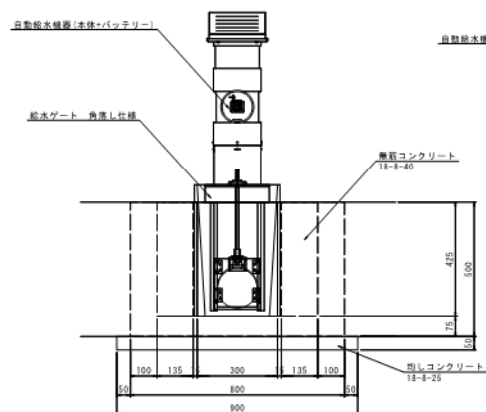
角落し壁構造図

S=1:10

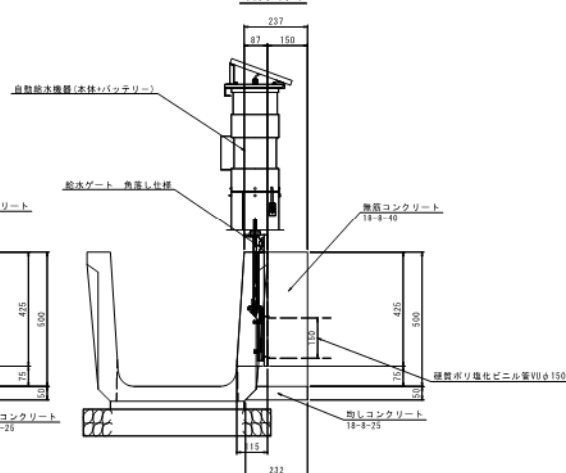
平面図



断面図



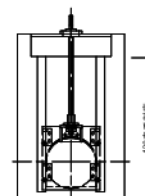
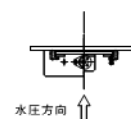
断面図



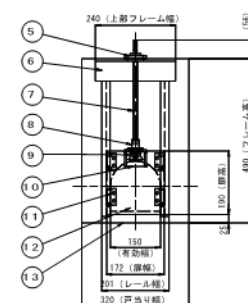
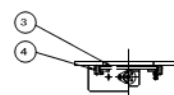
給水ゲート 角落し仕様
参考図(ゲート標準図)

S=1:8

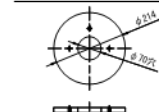
上面部



底面部



ベースプレート



番号	名称	数量	材質
1	-	-	-
2	-	-	-
3	止水ゴム	1	CR PL3
4	レール	2	AL
5	ピロー	1	H-PVC
6	上部フレーム	1	A6063
7	スピンドル	1	SUS303 φ12 (2条)
8	フランジナット	1	CAC406 (2条)
9	ストッパー	1	AL
10	ナットベース	1	ABS
11	クサビ	4	SCS13
12	扉体	1	AL PL8
13	戸当り	1	H-PVC PL12

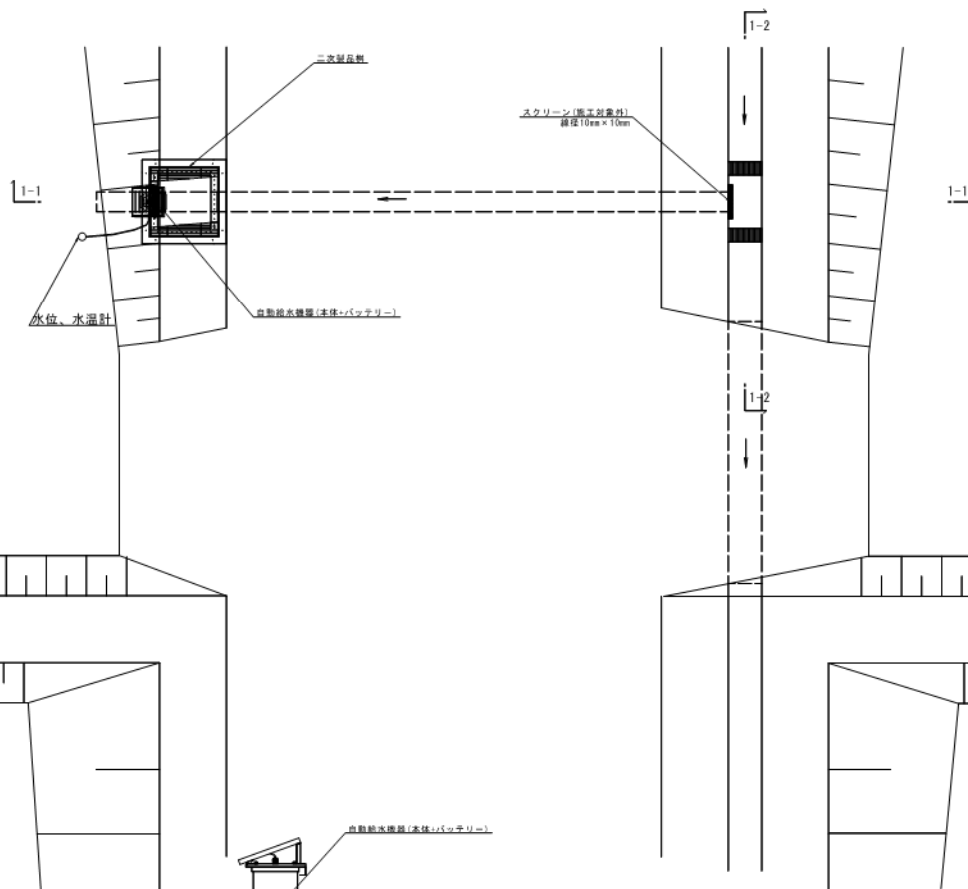
(mm)

リード	6
揚程	160
最大揚程	210
有効高	150
有効幅	150

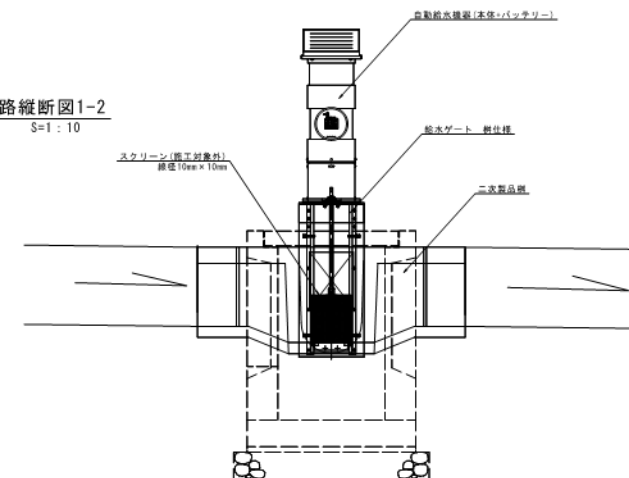
業種名	建設業
図面名	③型 自動給水ゲート A-U500型 標準図 (2/2)
作成年月日	令和 6 年 3 月
縮尺	図示 図番番号 5-2
会社名	
事業所名	九州農政局 北九州土地改良団管理事務所

④型：自動給水ゲート B-二次製品柵型 標準図(1/2)

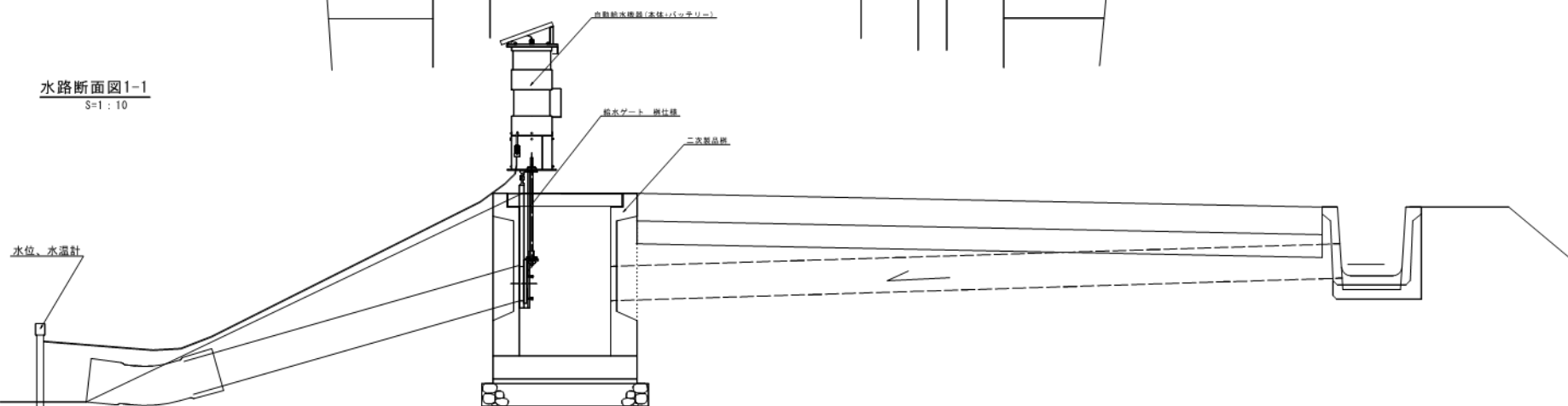
平面図
S=1:20



水路縦断面図1-2
S=1:10



水路断面図1-1
S=1:10



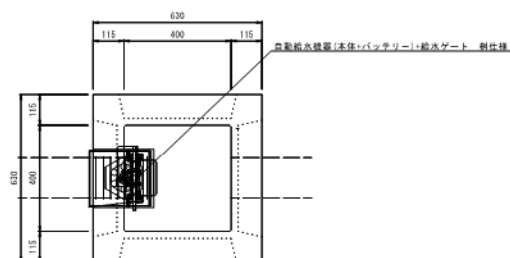
業種名	建設業 大野川上流地区排水処理施設整備事業		
図面名	④型 自動給水ゲート B-二次製品柵型 標準図(1/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	6-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北九州土地改良園管理事務所		

④型：自動給水ゲート B-二次製品柵型 標準図 (2/2)

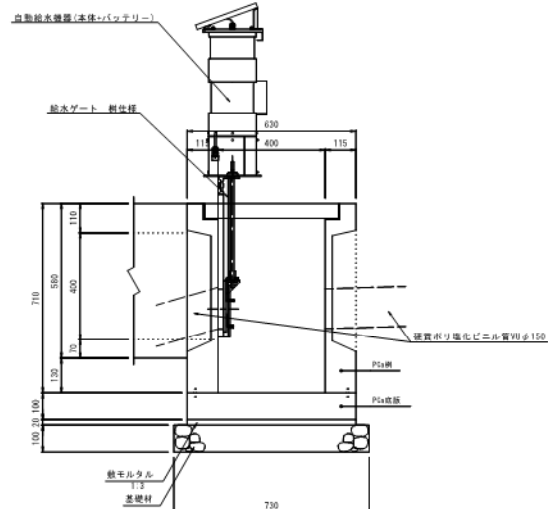
二次製品柵平面図

S=1:10

平面図



断面図



数量表

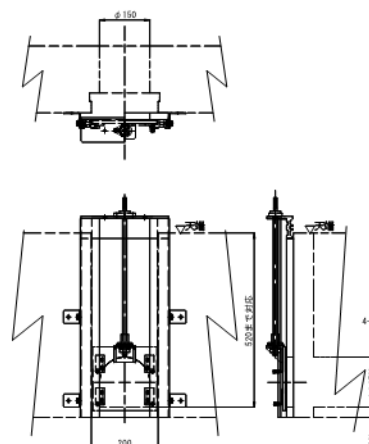
1箇所当り

名 称	規 格	算 定 式	単 位	数 量
基礎材	1:100mm	0.73±0.73	m2	0.53
鉄モルタル	1:3	0.63±0.63±0.02	m3	0.01
※柵	400A用	参考質量:245kg	基	1
プレキャスト建柱	400用	参考質量:95kg	枚	1

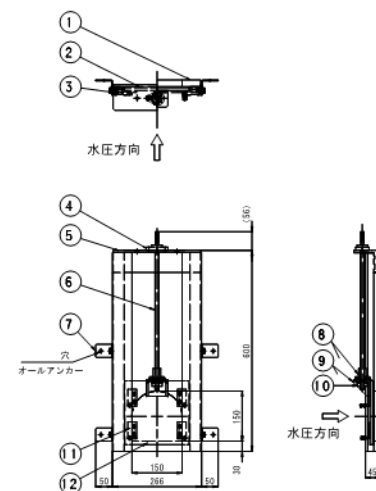
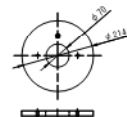
給水ゲート 柵仕様

参考図(ゲート標準図)

S=1:8



ベースプレート



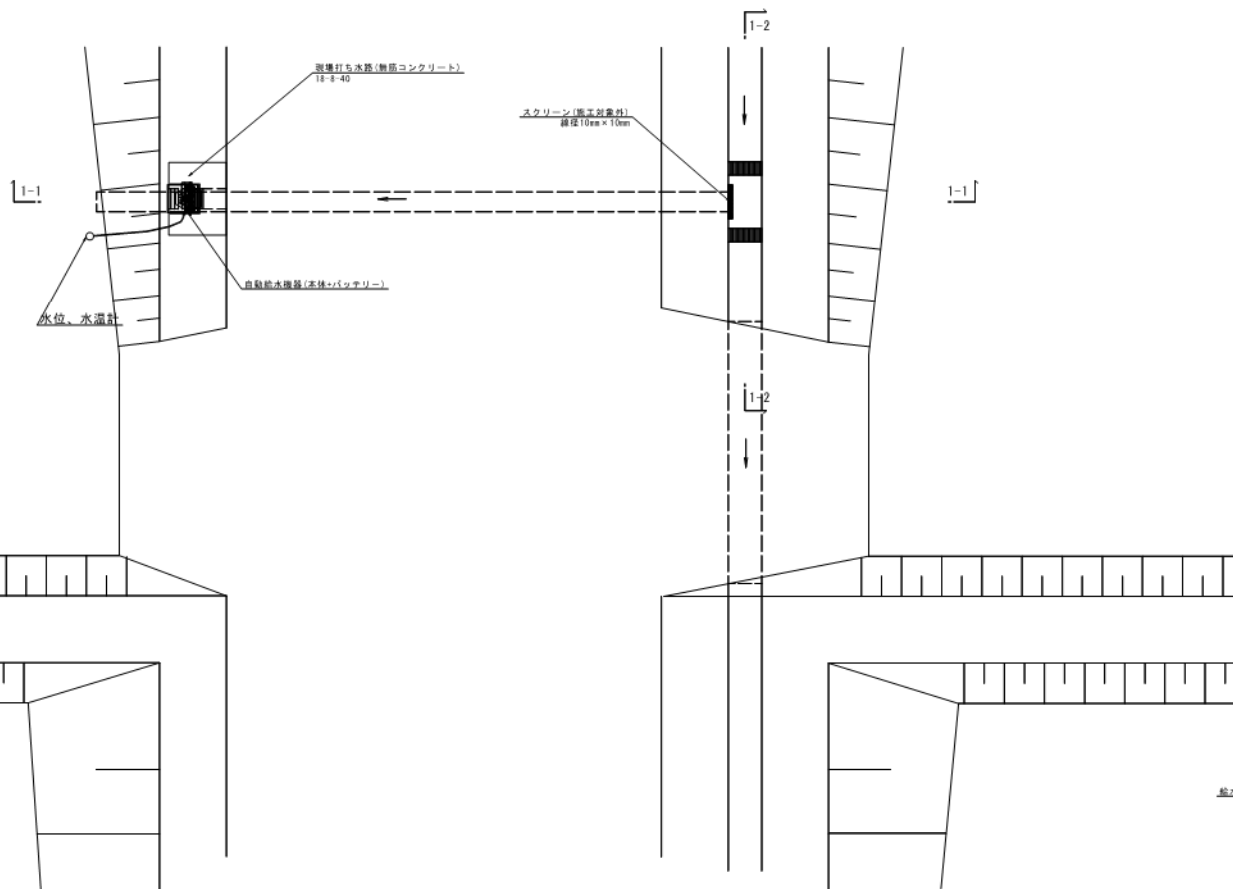
番 号	名 称	数 量	材 質
1	戸当り	1	H-PVC PL20
2	止水ゴム	1	CR
3	側部フレーム	2	AL
4	ピロー	1	H-PVC
5	上部フレーム	1	A6063
6	スピンドル	1	SUS304 φ12 (2本)
7	フリーアングル	4	SUS304
8	フランジナット	1	CAC406 (2本)
9	ナットベース	1	ABS
10	ストッパー	1	AL
11	クサビ	4	SCS13
12	扉体	1	AL PL8

リード	6
揚 程	160
最大揚程	
有効高	150
有効幅	150

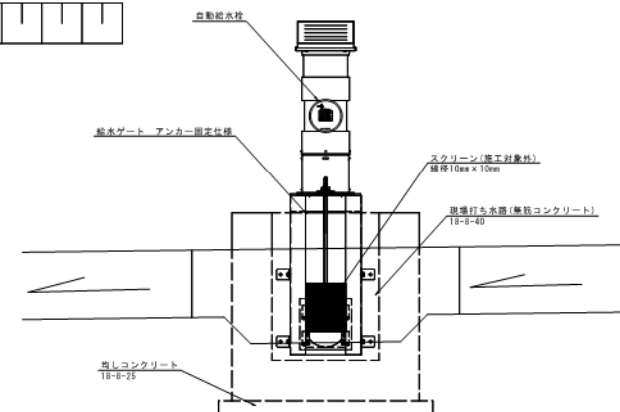
業 務 名	地盤工学部：コンクリート事業 大野川上流河川整備事業等建設工事(河川)河川建設施工
図 面 名	④型 自動給水ゲート B-二次製品柵型 標準図(2/2)
作 成 年 月 日	令和 6 年 3 月
縮 尺	図示 図番番号 4-2
会 社 名	
事業所名	九州建設局 北九州土地改良団管理事務所

⑤型：自動給水ゲート B-現場打型 標準図(1/2)

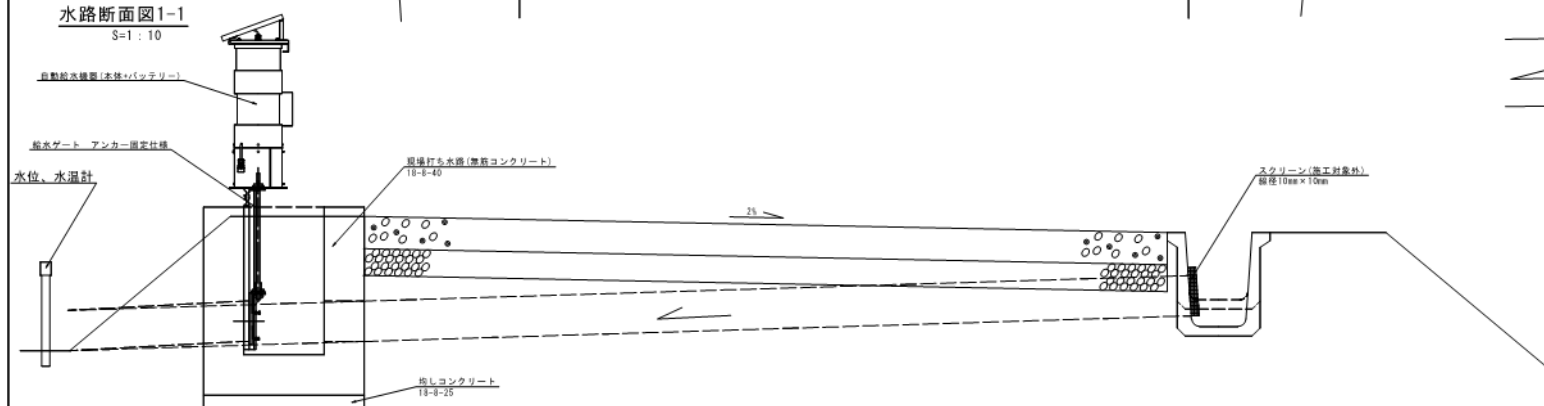
平面図
S=1:20



水路縦断面1-2
S=1:10



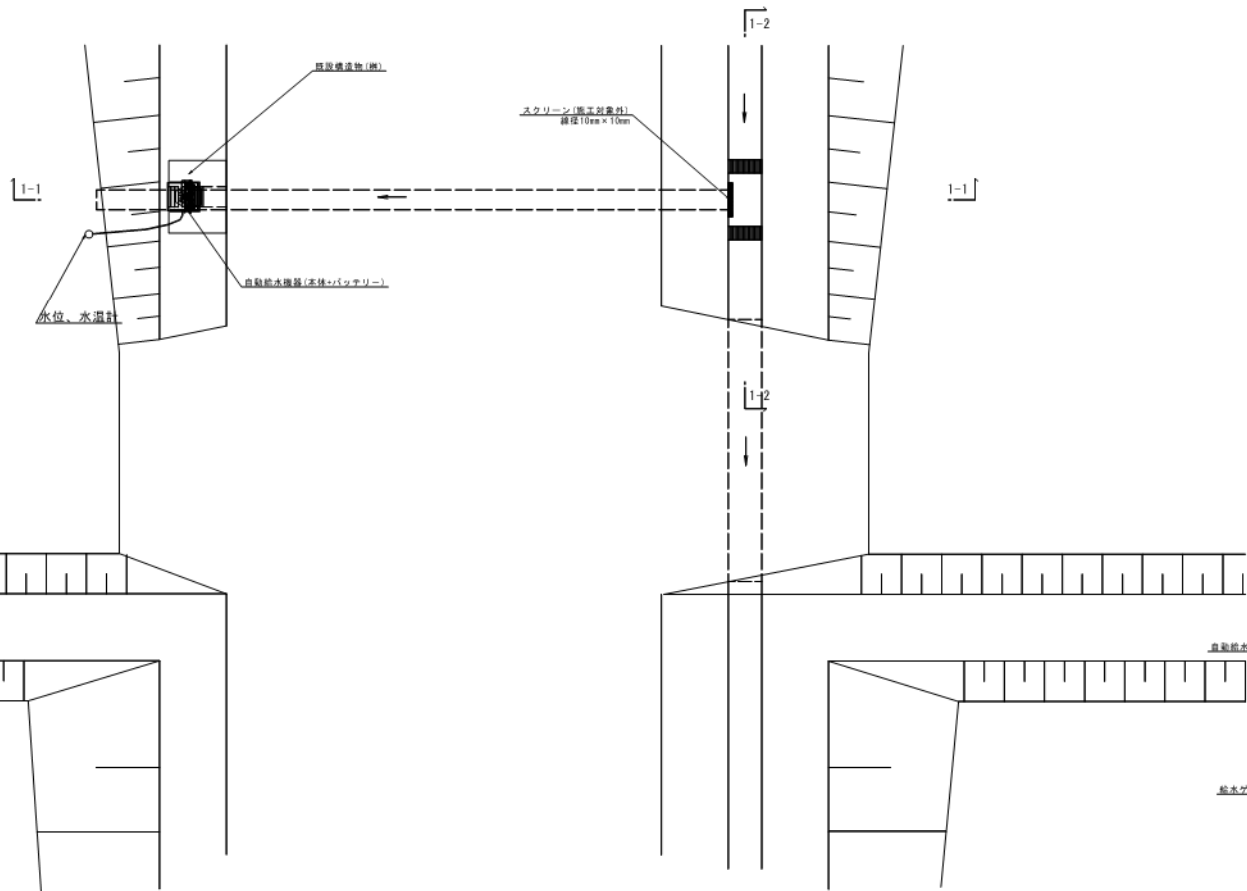
水路断面図1-1
S=1:10



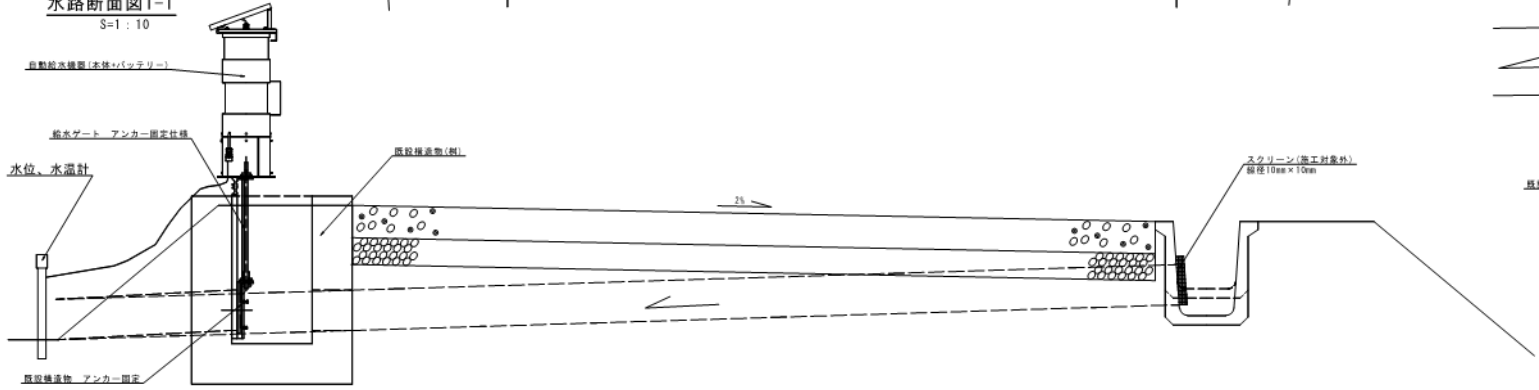
業種名	地盤・土木・建設・環境・土木・建設・環境		
図面名	⑤型 自動給水ゲート B-現場打型 標準図(1/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮尺	図示	図面番号	7-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良開発管理事務所		

⑥型：自動給水ゲート 既設直付型 標準図(1/2)

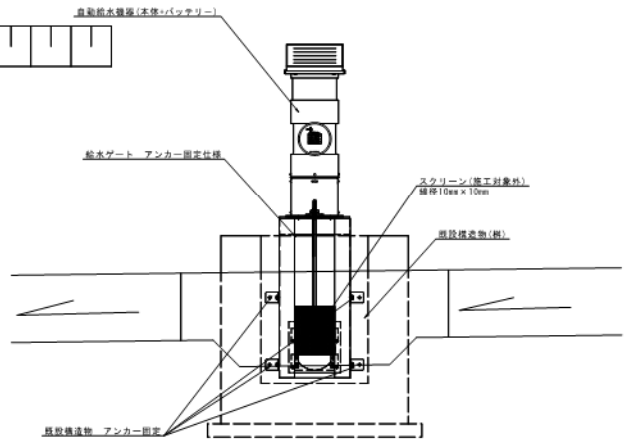
平面図
S=1:20



水路断面図1-1
S=1:10



水路縦断面図1-2
S=1:10

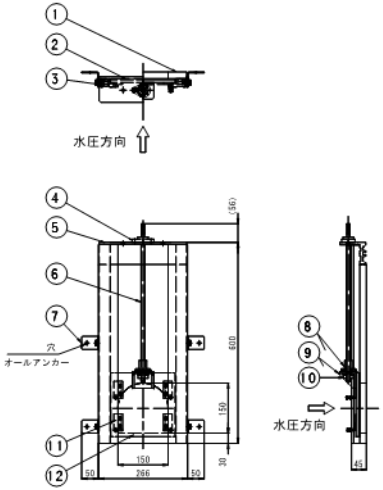
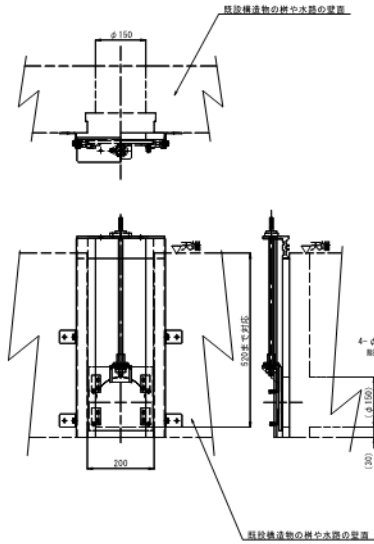


業種名	建設業 大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業		
図面名	⑥型 自動給水ゲート 既設直付型 標準図(1/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮 尺	図示	図面番号	8-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良開発管理事務所		

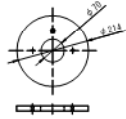
⑥型：自動給水ゲート 既設直付型 標準図 (2/2)

給水ゲート アンカー固定仕様
参考図（ゲート標準図）

S=1：8



ベースプレート



番号	名称	数量	材質
1	戸当り	1	H-PVC PL20
2	止水ゴム	1	CR
3	側部フレーム	2	AL
4	ピロー	1	H-PVC
5	上部フレーム	1	A6063
6	スピンドル	1	SUS304 φ12 (2本)
7	フリーアングル	4	SUS304
8	フランジナット	1	CAC406 (2本)
9	ナットベース	1	ABS
10	ストッパー	1	AL
11	クサビ	4	SCS13
12	扉体	1	AL PL8

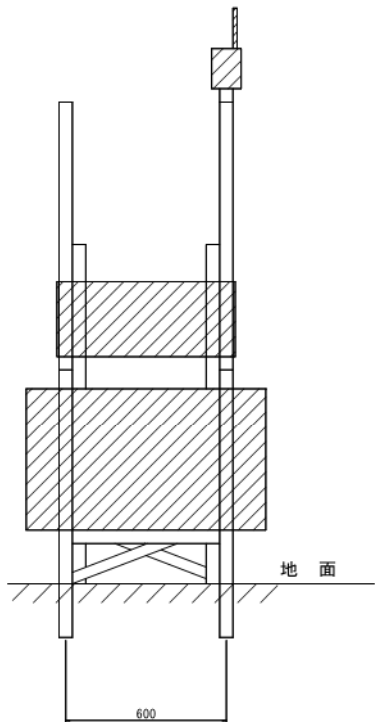
リード	6
揚程	160
最大揚程	
有効高	150
有効幅	150

案名	池田川水門：RCモデル事業 大野川上流地区治水対策事業（平成27年度）		
図名	⑥型 自動給水ゲート 既設直付型 標準図 (2/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮尺	図示	図番	8-2
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良事業事務所		

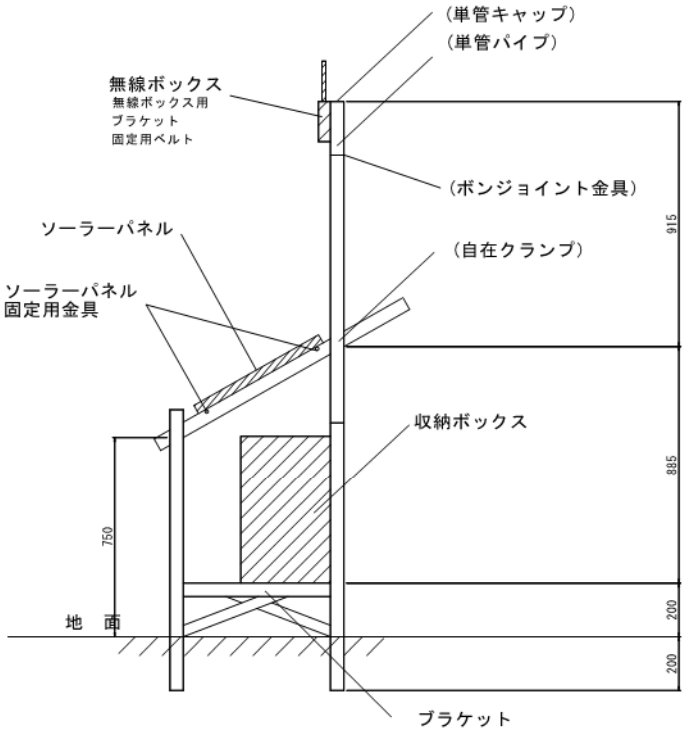
通信中継器構造図

S=1 : 10

正面図



断面図



案名	無線中継器設置工事 大野川上流地区広域防災無線中継器設置工事		
図名	通信中継器構造図		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮尺	S=1 : 10	図番	9
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		